

甲南Today

2013 Mar NO. 43

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

<特集>

”子育て10のポイント“

大切なお子さんのために知っておきたい

<特集>

ボクとワタシの成長記録

学生の成長をリアルにお見せします

文学部 人間科学科
大澤 香織 講師



<特集>

甲南には、未来をつくる学部がある

あたたかみのある教育研究を行う——知能情報学部

<特集>

世界を相手に戦う 甲南アスリートたち

ロンドンオリンピック出場 武田麗子さんほか

甲南Today NO.43

2013年3月25日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)

ONLY ONE vol.14

—個性を力へ—

「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者 平生鈞三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園の光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

一人ひとりの「個性」が織りなした チャンピオンフラッグ。

全日本高等学校馬術競技大会優勝

クライマックスは準決勝。

敵は、大会屈指の強豪校だった。

甲南高校の馬術部が日本一になった！真摯な姿勢で馬術と向き合い、このところ目覚ましい成長を見せている、西端くん。冷静だがほがらか、マイペースな副主将伊藤くん。一年生ながらチーム一勝ち気な安田くん。そんなメンバーたちに気を配り、優しく団結へと導く主将の加納くん。実にさまざまな個性が絶妙に織りなし、生み出した優勝といえるだろう。

甲南チームが出場した障害競技の団体戦は、3名が出走し、その合計スコアで競う方式。自分たちが普段乗りなれている馬ではなく、甲南も相手チームも、大会が準備した同じ3頭に乗る。だから、馬との相性や馬のクセを知ること、誰がどの馬に乗るかを決める監督の采配……これらすべてが勝因を決めるカギとなるのだ。

さらなる試練が……
しかし、ファイトと団結で乗り越える！
準決勝が事実上の決戦だと、誰もが思っていた。ところが、さらなる試練が待っていた。決勝戦の始まる10分前に、西端くんが倒れたのだ。熱中症だった。応急処置で症状を落ち着かせ、何とか出場にこぎつけた。フタを開けてみると、周囲の心配もよそに失点はゼロ！完璧な競技だった。普段は冷静な西端くんも、ガッツポーズで喜びを爆発させた。他のメンバーも、彼の姿に触発されたようにベストを出し切り、見事優勝を手にした。

これを誇りに、前主将に代わって、みんなを引っ張っていきける存在になりたいと思います」と感想と抱負を披露してくれた。
「高一の大会では、力を出し切れずに1回戦で敗退し、悔しかった。だから本当に勝ちたかった」と話す伊藤くん。「基本に忠実に、さらにレベルアップを図って勝てるチームをめざします」と早くも次のシーズンへの意気込みを語ってくれた。
「体調不良を押して出場した西端さんの闘志が、本当にカッコ良かった」と語る安田くんは、この冬高校生日本代表に選出され、馬術がメジャー競技であるオーストラリアでの強化合宿に参加した。馬の手入れのしかたやエサ一つとっても日本とは違う。馬のコンディショニングも、さらに意識するようになりました。
馬を降りても、彼らは未来に向かい走っている。



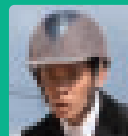
日本一は、実に44年ぶり。馬術部OB会である甲勝会のみならず、高中ご父母により、盛大な祝賀会が開催されました。
(第2回優勝メンバーと今回の優勝メンバー)

高等学校 馬術部

<写真左より>

三年 加納 俊さん
二年 伊藤 陸さん
一年 安田 公翼さん

にしはた まさのぶ
二年 西端 将展さん



マロニエ賞も受賞しました。
今回の成績は、スポーツや文化などの分野で顕著な成績を挙げた兵庫県下の知事所管の私立学校に在籍する、園児・児童・生徒および教職員などに贈られるマロニエ賞を受賞しました。



インターネットで甲南へ

<http://www.konan-u.ac.jp>

携帯電話で甲南へ



Konan
mobile

なるほど!
甲南
アカデミア

19

文学部
人間科学科
大澤 香織
講師

記憶の森に迷い込んだ
心に道しるべを
～ 心の傷
ートラウマからの回復をめざしてー
日常生活にも支障をきたしてしまう
“トラウマ”の問題に、どう対応したらよ
いのかー 大澤講師が解説いたします。

<特集>
大切なお子さんのために
知っておきたい
“子育て10のポイント”

15

脳科学と発育・発達学の
視点からアドバイス。

“乳幼児期”から“児童期”は子どもの
発育に重要な期間。この時期の子育てに
ついて、2人の教員が、脳科学、発育・発
達学の観点から、ご参考にしていただき
たいポイントを挙げ解説します。

豪華付録、送料無料、格安旅行…。
お金にまつわる「？」が一挙解決！

12

GAKU
楽
オモシロイ!!

甲南大学会計大学院の古田清和教
授を中心に、教員や公認会計士試験に
合格した出身者たちが共同執筆した
『20歳になったら知っておきたい会計の
はなし』が好評です。身近な“お金の疑
問”を解き明かし、会計の視点から世の
中の仕組みに迫る同著を紹介しします。

03

<特集>
あたたかみのある教育研究を行う
ー 知能情報学部

甲南には、
未来をつくる学部がある。

「チノウジョウホウ…？」
何やら難しい名前の学部…。
インターネットやコンピュ
ータ、ロボットを主な領域に、
独創的な研究に取り組み、
“人間味あふれる情報社会”
の未来をひらく人材育成を
めざしています。

ボウトワタシの
成長記録
The First Graduating Class of CUBE

23

<特集>
卒業ーボクとワタシの成長を
アルバム形式でご覧ください！

学びはもちろん、留学
やさまざまなプロジェク
ト、出会いを通してたくま
しく成長し、今春、社会人
になるCUBE1期生のお
二人に、4年間を振り返っ
てもらいました。

学生とのほほえましい
やり取りで人気です。

21

生協の内田さん
学生を陰で支える、2児のお母さん。

「ひとことボックス」への丁
寧かつあたたかい回答で、学
生の人気を得る甲南大学生
協専務理事。真摯に仕事と向
き合い、学生を優しく思いや
る横顔を紹介します。

KONAN FORUM

29

平成24年度9月1日以降の新任教職員紹介、教員と卒業生による
新刊レビューなど。

フランス甲南学園
トゥレーヌだより

27

2013年2月8日、トゥレーヌ
最後となった卒業式の様
子をお知らせします。

ONLY ONE
ー個性をカヘー

裏表紙

甲南高等学校馬術
部が、44年ぶりに日本
一の栄冠を手に入。健
闘した4人の生徒を紹介
します。

◎平生日記
清水善造と
平生飢三郎

28

日本人として初めてウィンブルドンテニス選手
権大会に出場した清水善造と平生とのかわり
について、経済学部 藤本教授が言及します。

13

受け継がれるもの。
ーフェンシング部復活！
OB・OGのみなさんの情熱により、
11年ぶりに復活を遂げたフェンシ
ング部。OBの方の復活への思いと現
役部員の覚悟をレポートします。

14

高 中 TOPICS
日本一を手にした3人の
生徒。快挙の裏にある努力
を笑顔で話してくれました。

Challenge
to THE World

05

<特集>
世界を相手に戦う
甲南アスリートたち

世界に挑んだ3人。
それぞれに等身大の実感を
語っていただきました。
世界の檯舞台に挑んだ3人のア
スリート。馬術障害飛越競技日本
代表としてロンドンオリンピックで
戦った武田さんに、社会人野球
ワールドカップで主将としてオー
ルジャパンチームを牽引した横山
さん、初めての国際大会でそれま
でにない緊張を経験した学生ゴル
ファー森さん。汗まみれの努力
を積み重ねた舞台裏をお話しい
ただきました。

甲南Today
from the editorial staff

No.43
2013
March
今号の見どころ

ロンドンオリンピックに出場した武田麗子さんをはじめ、近ごろ活躍目覚ましい甲南アスリートたち。高中においては課外活動3団体が日本一、大学では現役とOBが国際大会で強豪相手に戦い抜きました。このほか、未来をつくる知能情報学部、子育てのポイント、初めての卒業生を出すCUBEなど、盛りだくさん内容でお届けします。

甲南には、未来をつくる学部がある。

あたたかみのある教育研究を行う-知能情報学部-

知能情報学部長の岳五一です。

2008年4月に設立された知能情報学部は、

「人間味あふれる情報社会」の

未来をひらく人材を育成し、この3月の卒業生と合わせ、230名の卒業生を社会に送り出しました。

私たち人間は、昔からまだ見ぬ「未来」を想像し、夢見てきました。ちよつど「鉄腕アトム」や「ドラえもん」にワクワクしたように。かつては、「コンピュータやロボットが家庭に存在することなど、小説やマンガ、物語の中だけの出来事でしたが、今や、パソコンはもちろん、お掃除ロボットなど家事の手助けをするロボットがあるご家庭も、珍しくなくなりました。

とても便利で、役に立っているパソコンやロボットですが、「もっとも」と人と社会のために「人間や機械のインテリジェンスと情報技術の融合をめざし、一生懸命研究している教員たちが、甲南大学にはいるのです。その志が学生たちに、そして社会に「人のあたたかみ」をもたらしています。

このコーナーでは、知能情報学部の3つのコースの教員が、研究の一部をご紹介します。「チノウジョウホウ...?」何やら難しそうな響きですが、知能情報学部は、情報社会の未来をつくる「学部」なのです。

私たちは、知的情報社会の未来をひらく知性と人間力を兼ね備えた人材を育て、最先端の知能・情報技術を創造し、ヒトの脳や感覚の働きを解明することによりメディア開発に役に立て、さまざまなロボットや賢い家電・自動車などの生活環境の知能化に貢献します。



ヒューマン
インテリジェンスコース
才脇 直樹 教授

テレビのリモコンやスマートフォンを操作する際「使にくい!」とイライラする時がありませんか? 私たちが日常生活で使う家電製品や情報機器は、快適に操作できるように設計開発されているのですが、それでも誰もがストレスなく使えるレベルにはなかなか至りません。その改善を目指して、研究者は日夜努力しています。これは、私の専門である「ヒューマンインターフェース」分野のほんの一例です。より端的にご説明すると、「人々が日々生活している中で接する、情報処理環境のQOL(生活の質)を高めるための研究ですね。

私の研究対象の中には、「五感インターフェース」という分野があり、物のさわり心地を再現する装置(触感ディスプレイ)や、逆にさわり心地を分析する装置(触感センサ)の開発を行っています。例えば、触感ディスプレイを指先に取り付けてさまざまな刺激を与え、脳活動を調べられるfMRIを用いると、触感が脳に与える影響を分析する脳科学に応用できます。また、身近なところでは、将来インターネットで洋服や布団などを購入する際、着心地やさわり心地を確認できたり、美術館などで、

“着るコンピュータ”で、ひとり暮らしのお年寄りを救う!?

触れてはいけない作品の質感を疑似的に体験できるようになるかもしれません。さらに、触感センサを人間型ロボット(アンドロイド)に搭載すると、人の肌や布のような繊細で柔らかな物体を、傷つけないよう優しく扱うことができ、介護の現場などに応用できるようになります。

また、衣服とコンピュータを融合する(ウェアラブル・コンピュータインテグレーション)ことで、着るだけで手軽に心拍や体温、運動の様子などを計測するシステムの開発も行ってきました。データを無線でインターネットに送り、病院や医師、家族が情報を共有し、健康状態を24時間見守ることで、独居老人の孤独死予防、運転手の疲労や居眠り監視、妊婦と胎児の体調管理などに応用できます。冷え症予防の温度制御服も開発しました。

以上は、全て企業や他大学などとの共同研究として取り組んできており、社会連携貢献も含めたさまざまな経験を積んでらつことで、実学重視の本学の伝統に即した実践的學生教育を行っています。さらに、現在、特撮ヒーローでおなじみの円谷プロとのコラボレーション企画も進行中です。どうぞ、ご期待ください。



ウェアラブル・
コンピュータインテグレーション



学部長
岳 五一 教授



Web
コミュニケーションコース
瀬本 明代 教授

情報を閲覧・検索するのに、インターネットは非常に便利で、私たちの生活に欠かせないものになりました。私の研究室では、インターネットをさらに便利に、そしてもっと社会の役に立つようにとの思いで、検索やインターネットからの情報抽出、分析技術の研究を進めております。

東日本大震災発生直後、ツイッター上でさまざまなデマが流れました。どの情報がデマであるのかを判断することは難しく、多くの方が惑わされたのです。大災害時にこのような混乱を二度と招くことのないよう「デマを訂正するつづきツイート」を抽出することで、デマ情報を見極める技術を、東京大学の荒牧先生、宮部先生と共同研究しています。

みなさんに身近に感じていただける研究にも取り組んでいます。mixiやFacebookなどのSNS(ソーシャルネットワークシステム)上にあるたくさんさんの情報から「お得!」と思える耳より情報を自動で抽出するシステムを研究開発しております。

さらに、インターネット上の情報から感情を抽出することも研究してい



マシン
インテリジェンスコース
梅谷 智弘 准教授

「ロボット」というと、「昔前は、人の形をしたものを思い浮かべる方が多かったと思いますが、今やロボットは、実にさまざまな形があり、多種多様な研究が行われています。ナノ(10億分の1)サイズのものがある一方、船に使われる巨大なロボットや、宇宙で活躍するロボットもあるといった具合です。私は、そんなロボットを「より賢く、気の利く」ものにするべく、ロボット自身が自分のまわりの状況を判断するための技術を研究しています。その中からほんの一部ではありますが、ご紹介させていただきます。

まずロボット自身が、自分の身のまわりの状況を把握する「センシング技術」があります。最近よく見かけるお掃除ロボットに活用されているものです。直径30センチぐらいの円盤型のロボットが、部屋の中を勝手に動きまわって掃除してくれます。障害物を巧みによけ、壁や家具に衝突して傷をつけることがありません。人間なら当たり前のような、自律したこの動作を支えているのは、赤外線センサーです。精度が高くなれば、ロボットが行う作業の安全性が改善され、工場で働くロボッ

ロボットは、人のために存在する。

トや介護の現場などに活用されるでしょう。

また、みなさんなじみ深いものとして、スマートフォンなどの携帯端末を持つ人の現在いる場所を把握する技術も、ロボットに活用されています。屋外ではGPS(全球測位システム)、屋内では無線のネットワーク回線によってインターネットに接続することで、位置を特定する情報通信技術です。この技術がもっと発展し、他の技術と組み合わせられることで、人が希望する場所へ、自動的に運んでくれるロボットが開発されるかもしれません。

ロボット研究は数多くの領域と関連しているので、研究を進める中でさまざまな方との交流が生まれます。学生には、多くの方とコミュニケーションを通じて、成長してほしいと思っています。私の研究のすべての根本にある、「人々の生活を安全かつ快適にしたい」という願いを学生が共有してくれて、みなさんに喜んでいただけるロボットができればうれしいですね。そのうち、優しい心を持つロボットが誕生するかもしれません。

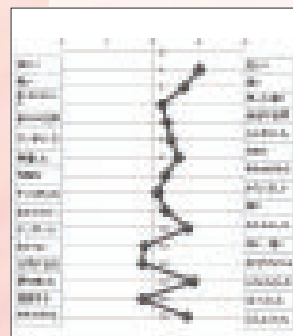


インターネットを、さらに人の生活に役立てたい。

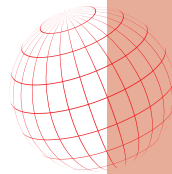
ます。「ハッピーな気分になれる映画が観たいな」とか「悲しい物語が読みたい」と思うとき、映画や書籍の感想やあらすじから「感情」を抽出できれば、お望みの作品が検索可能になります。こちらは千葉工業大学の熊本先生と共同で行っている研究です。

さらに、家族の大切な食事をつくる主婦に喜んでいただけるシステムもあります。毎日の献立を考えるのは、意外に大変なもの。料理が得意でない人や、アレルギーを持っている方が家族にいらつしゃれば、なおのことです。当研究室で考案した、レシピをさまざまな観点から検索できるシステムがあれば、そういった方々のご負担も減ると思います、研究しています。

以上のように、今のインターネットではできないことを可能にする技術で、瀬本研究室では研究開発しております。学生には、「一人ひとりが自ら考えたテーマを研究し、独自の手法を創り出していくよう指導すること」で、「個性」や「自主性」を伸ばしています。また、他大学との共同研究も積極的に行うなど、人との交流により、豊かな人間性を涵養してほしいと願っております。



東野圭吾作品から抽出した感情の分布



世界に挑んだ3人のストーリー。

Challenge
to
THE World

世界を相手に戦う 甲南アスリートたち

このところ、スポーツ界において甲南大学の卒業生、学生の活躍が目立ちます。ここでご紹介する3人は、いずれも最近国際試合に出場した方ばかり。世界の強豪相手に全力を尽くす―強い精神(こころ)がなくっては成し得ないことです。しかしながら、試合の様子を語ってくださる姿は、しなやかかつ謙虚。未来を見つめる明るい瞳と、話を聞く者を清々しい気持ちにさせるコミュニケーション力は、さすが甲南アスリートといったところです。みなさまも、彼らのさわやかさをお感じください。

2012年の夏、日本中を興奮の渦に巻き込んだロンドンオリンピック。連日、アスリートたちの熱戦が繰り広げられました。読者の中にも、熱心にご覧になっていた方も多かったことでしょうが、日本代表選手総勢293人の中に、甲南大学の卒業生がいらっしゃったのをご存じでしょうか？馬術障害飛越競技日本代表の武田麗子さんが、その方です。

オリンピックからさかのぼること約2か月、日本馬術連盟が代表選手8人を発表するや否や各メディアは、武田さんのことを「代表選手の紅一点美人騎手」と一斉に報道しました。インターネット上では「美しすぎるライダー」として話題沸騰。また、武田さんのお父様が、武田薬品工

業株式会社元代表取締役会長長の武田國男氏であることも注目を集めました。メディアの報道では、武田さんの華やかな部分がクローズアップされがちでした。

本誌は、ドイツから試合のために一時帰国された武田さんを訪ね、オリンピック出場時のお話に加え、馬術との出会いや、常に武田さんを励ます存在であったお父様との心温まるエピソード、甲南大生時代の思い出など、メディアが伝えきれていない部分にもスポットを当ててお話を聞きました。2016年のリオデジャネイロオリンピックに向けて、今、最も期待される馬術選手・武田麗子さん。その人知れず積み重ねられた努力と、親しみやすい素顔をお伝えします。

**ギリギリで手に入れた
オリンピックへの切符。
両親、愛馬、まわりの人への
感謝があふれた。**

「二つのことを続けてみることに
つらいことがあっても、乗り越えるんだ」
―いつも、父のことばが支えてくれた。

ロンドンオリンピックに出場できるとは、夢にも思っていないませんでした。実は、2014年にフランスで行われる世界馬術選手権の方を目標にしていたんです。オリンピックに出るためには、国として“出場枠”を得ることが必要で、日本の枠は、私以外の7名で確定済みでした。ところが、私のトレーナーもしてくださっている杉谷泰造選手が、国際大会で勝利を重ねられたことにより、ご自身のオリンピック個人出場枠に加えて、さらにもう一つの日本人の出場枠を獲得してくださったのです！「こんなチャンスは二度とないかもしれない」と思いました。その一枠で誰が出場するかは、オリンピック代表選手選考会で決ま

コンディションを整えました。

**多くのことを学んだ
初めてのオリンピック。
精神の強さを身につけたい。**

オリンピックでの目標は決勝進出。でもそれ以上に、自分が納得できる走行をしたいと思っていました。あれだけの大舞台は初めてでしたので、やはり圧倒されましたね。広々としたアリーナに私と愛馬のアリだけ、周囲には満員の観客…。人々の熱気にも、他の大会にはない緊張を感じました。

イメージ・トレーニングをして、「大丈夫、できる」と信じ、アリとともに臨んだ本番。前半は、イメージどおりに落ち着いて走行できたのですが、中盤のたった一つのミスを最後までひきずってしまい、どうしても立て直すことができませんでした。決勝に出ることも、自分が納得する走行もできなかった。本当に悔しかったですね。応援してくださった日本のみなさんにも、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、この苦い経験を通じて多くのことを学んだのも事実です。その一つが、精神面の強さが何より大切だということ。

馬術の試合では、コースや障害の順番が、毎回変更されます。コースは試合の15分前に初めて公開され、私たち選手が、自分の足でコースを歩いて下見をするのです。「ここは5歩で行け

ロンドン五輪
障害馬術競技 日本代表
武田 麗子さん

Reiko
Takeda

Kenichi
Yokoyama

Yuki
Mori



Reiko Takeda

たけだ れいこ
武田 麗子さん

兵庫県神戸市に3人兄妹の末っ子として生まれる。甲南女子中学校のときに乗馬を始める。甲南女子高等学校時代に本格的に馬術を始め、杉谷乗馬クラブの杉谷泰造氏に師事。甲南大学・文学部社会学科を卒業後、ベルギーへ渡り、現在はドイツを拠点に活動中。2010年アジア競技大会で初の日本代表選手入り。2012年、馬術障害飛越競技の日本代表として、ロンドンオリンピックへの出場を果たした。ドイツでは馬術中心の生活だが、日本に滞在中はネイルやショッピングを楽しむそう。好きなファッション誌は、「Oggi」や「CLASSY.」。趣味は、歌を歌うこと。時間があれば、歌のレッスンを受けたいと思っているとか。父は、武田薬品工業株式会社元代表取締役取締役会長の武田國男氏で、同氏も甲南高等学校、甲南大学の卒業生。

活動する友人たちを見て、やはりいろいろと悩んだり迷ったりしました。就職して社会経験を積むことが大切だと思ふ反面、馬術を中途半端なままやめてしまっていたのか結論が出せなかつたんです。これまで全力でサポートしてくれた父の顔も浮かびました。ちょうどそのころです。ベルギーに拠点を移して、馬術を続けなかつたというお話をいただき、ヨーロッパへ行くことを決心しました。当時は、オリンピックに出場できるなんて想像もしていませんでしたし、英会話にもまったく自信がなかつたので、不安でいっぱい。でも今は、あのとき勇気を出してよかったと心から思っています。また、このように、馬術に専念できる恵まれた環境を与えてもらっていることにも、深く感謝しています。世の中には、自分のやりたいことを続けたくてもできない方が大勢いらっしゃると思います。そのことを忘れてはならないと、常に意識しています。

馬と心を通わせ、2014年の世界馬術選手権とアジア競技大会をめざす。

馬術の一番の魅力は、道具や機械ではなく、馬という生き物とともに戦うことではないでしょうか。馬は、私にとつては子どもや弟妹のような存在。どんなに落ち込んでいても、この子たちの元気な顔を見るだけで幸せにな

る」などと確認しながら試合をイメージするのですが、実際に走行してみると、「ここは5歩じゃダメだ!」というように、予想が外れることもしばしば。わずか1分前後の短い競技時間で、毎回、想定外の事態にぶつかり、そのたびに冷静に判断しなければなりません。馬はとても賢い生き物ですから、少しでも動揺すると敏感に感じとります。だから、ぶれない強さが何より大切なんです。

もし、私にもっと強い精神力があったら、オリンピックという大舞台でも調子を取り戻せたかもしれません。勝利は運に左右される面もあるでしょう。でも、その運も、普段の行動の積み重ねがあつてつかめるものだと思っています。今の自分を超えることができるよう練習し、3年後のリオデジャネイロオリンピックまでに成長したいですね。

努力を積み重ねた日々。それこそが、「かけがえのないこと」。

乗馬を始めたのは、中学に入る直前の春休みです。動物が大好きだったので、馬に乗るといふより馬に会えることがうれしくて…(笑)。ところが「一緒に始めた姉が半年後に突然、やめてしまったんです。当時の私は、とても人見知りで、いつも姉の後ろに隠れている

ような子でしたから、本当にショックでした。でも、父に励まされて、「これからは、自分一人ががんばろう!」と思えたんです。

高校生になると、インターハイや国体など、競技としての馬術を意識するようになりました。杉谷乗馬クラブに移り、自分の馬をもって本格的に取り組み始めたのも、このころです。平日は学校のため土日しか通えませんでしたが、夏休みなどの長期休暇には、近くに泊まり込んで練習しました。

私は、生まれつき乗馬のセンスがあるわけではないんです。これまでの競技生活を振り返っても、失敗した思い出ばかり。競技会で落馬したら、体も心も痛いんですよ。落馬はしないまでも、障害の踏切地点で馬が止まってしまうったり、障害をよけてしまつたり…。そんなミスは、本当に数えきれません。先日、ノーベル賞を受賞された山中伸弥教授が「1回成功するために、9回ぐらい失敗しないと幸運は来ない」とおっしゃっていましたよね。馬術も同じだなあとつくづく思います。「ひとつの成功」を手に入れたいと願うなら、日々、練習するしかない。でも、その都度何かを発見できるわけではないし、目に見えて上達するわけでもない。地味で単調な練習の繰り返しに耐えていたら、ある日突然、試合中に「あつ、できるようになった。練習の

おかげだ!」というときが来る。そんな日々を積み重ねて、何とかやってきました。

乗馬を始めたときに、父が言ってくれたことは強く心に残っています。困ったとき苦しかったときはいつでも、そのことばに支えられてきました。「麗子、何か一つのことを続けてみなさい。途中で、つらいことがあつてもやめてはダメだ。努力して乗り越えるんだよ」。父は、さまざまな困難を乗り越えてきた人。そんな父の背中を子どもながらに見てきましたから、このことばは胸に響きました。オリンピックに出場できたことは、もちろん貴重な経験です。でも、努力を積み重ねてきた日々こそが、自分にとってかけがえのないことなんだつて。父はそのことを教えたかったのだと思っています。

ゼミ旅行、大学祭の企画…。いろいろなことに挑戦した甲南大学の4年間。

私は、中高大の一貫校である女子校に通っていたので、高校のクラスメートの多くは、そのままの女子大へ進みました。でも私は、華やかさや派手な雰囲気がちよつと苦手で(笑)。「もつ」といふ人に出会いたい!と思つて甲南大学に入学したんです。大学時代は、馬術の練習にもかなり重点を置きましたが、勉強やサークル活動

にも真剣に取り組みしました。学生会館のサークルに入り、大学祭の企画や運営も行つたんですよ。どんなイベントを企画したら喜んでもらえるかをみんな考えて、舞台も設営しました。当時の友人とは、今もとても仲がよくて、日本に帰るたびに連絡を取り合っています。

ゼミでの思い出も忘れられないですね。みんなで研究旅行をしたり、先生のお宅にお邪魔したり…。社会学科なので、卒業研究では、アンケートの調査票を自分でつくつて調査やデータの分析をしました。今も街でアンケート調査を見かけると、「どんな目的で、この質問をつくつたんだろう」とか「どういう答えを求めているのかな」など、いろいろと考えてしまいます(笑)。

大学を卒業するころになると、就職



武田麗子さんのオリンピック出場をお祝いし、甲南大学では、大学同窓会様、岡本商店街様、阪急電鉄様にご協力いただき、横断幕を作製、岡本キャンパスはもちろん、同商店街、岡本駅構内に掲出しました。

2011年11月、パナマでIBAF、社会人野球のワールドカップが開催されました。この大会でオールジャパンを務めたのが横山憲一さん。横山さんは、甲南大学文学部を卒業後、社会人野球の名門・三菱重工神戸に入社しました。同時にレギュラーメンバーに抜擢され、都市対抗野球大会に9年連続で出場しています。さらに、日本代表チームでも内野手として数多くの世界大会で活躍しました。その実績が評価され、オールジャパンのリーダーとなった横山さんに、日の丸を背負ってプレーする独特な高揚感や、自分が「これ!」と決めたことに打ち込む姿勢をお聞きます。

声を出し合い、一つになる。 日本の強み、チームワークで 世界と戦う。

声を出すか、出さないか。日本式野球と欧米風ベ이스ボールには大きな違いがあると思うんです。ひとりで表すなら「声」です。練習中はもとより本番の試合でも、ほとんど誰も声を出さないのが欧米のスタイル。日本では考えられないことです。

みんなが大きな声を出し合うことで、気持ちが高まり一つにまとまっていく。小学生のころから、僕はいつも声を出して野球をしてきました。言うまでもなく野球はチームプレーで、試合に出ていないメンバーまで含め組織力で戦うゲームです。ところが国際大会に出てくる他のチームは違う。どこか個人主義のにおいを感じました。

われわれ日本にチャンスがあるとすれば、組織力を生かすしかない。その意味で、チームをまとめるキャプテンの役目は極めて重要です。この間のワールドカップでキャプテンに指名されたときは、野球連盟幹部の方から「もし負けるようなことがあれば、お前の責任だから」と日本を発つ前に釘を刺されました。

国際大会に行くともう一点思い知らされるのが体格の違いです。特にヨーロッパの選手がでかい。ほぼ全員が190センチ前後あって、とんでもないパワーです。彼らのバッティング練習を見ているとどうがんばって

も勝てる気がしません。サードに飛んでくる打球なんてハンパなく速くて驚きますよ。

と言いつつも横山さんも負けてはいません。国際大会での打率は高く、キューバチームから米メジャーリーグに行ったアロルディス・チャップマンが投げる160キロオーバーの球も、しっかり弾き飛ばした実績があるのです。

100人に1人の超エリート、 それがオールジャパン選抜メンバー。

社会人野球のチームは、いま日本に89(2013年1月31日現在、日本野球連盟調べ)。1チームあたり30人ほど選手がいるとして、その数はざっと2700人。そこから厳選されたわずか25人だけが、日の丸をつけて戦うことを許されます。確率にして実に1%以下、オールジャパンに選ばれることは至難の業なのです。

今読売ジャイアンツで活躍している長野久義選手や、日本のドラフトを拒否して大リーグのレッドソックスとプロ契約し話題となった田澤純二投手なども、社会人全日本チームの出身。両選手に加えて、後にソフトバンク入りした攝津正投手が揃った2007年の第37回ワールドカップで、オールジャパンは堂々の3位入賞を果たしました。

横山さんは、このチームに26歳のとき初めて選ばれ、それ以降オールジャパンの常連となっています。ほとんどのメンバーが関東のチーム出身者で占められることを

日の丸を胸に戦う重み

胸の日の丸に手を当てたとき 湧きあがる独特な気持ちの高ぶり。

思えば関西での横山さんの存在感がいかに大きいかかわかります。やがて豊富な国際試合の経験を買われて、第39回大会ではキャプテンの重責を任されたのです。

ワールドカップには特別な思い入れをもっています。BFAアジア選手権やアジア競技大会、オランダで開催されるハーレム国際大会など、いくつかの国際試合で戦ってきました。でもワールドカップだけは別格なんです。大げさな言い方かもしれませんが、社会人野球を次の世代にもしっかりと残していくためには、この大会で結果を出さなければなりません。オリンピックから野球競技がなくなってしまうた今では、われわれにとってワールドカップが世界一を決める唯一の機会ですから。

社会人野球の世界で長年育ててもらった以上、アマチュア野球の発展に少しでも貢献する義務があると思っています。そういった理由もあってキャプテンとして臨んだ大会で

は結果を出したかった。僕自身は本来、決したことばが巧みなタイプじゃありません。どちらかと言えば、あれこれ指導するのではなく、自分ががんばることで、メンバー



知られざる社会人野球の過酷な世界

「社会人ともなれば練習もそれほどきつくはないだろう」と考えている人もいらつしやるかもしれません。しかし、社会人野球の厳しさは想像以上のものなのです。

横山さんも「最初は、毎日辞めたいと思うくらい練習がきつかったんです。想像もしていませんでしたが、泣いてしまうくらい」と語っています。企業の広告塔としての役割を担っている野球部は、都市対抗など注目を集める大会に出ることが絶対の

義務であり、大会でも勝ち抜くことが厳しく求められます。マスコミに取り上げられなければ、チームの存在価値はゼロに等しい。いきおい練習は過酷にならざるをえないのです。

おまけに、不況が続く中、企業は経費節減が至上命令となっており、チームに余分なメンバーを入れておくだけの余裕はなく、選手にとっては一年一年が勝負。好成績を残せなければ「明日から来なくていい」と言われて黙って受け入れるしかない世界です。横山さんも、自分より若い選手が辞めていく姿を何度か目にしました。かといってプロのように高額の年俵をも

たいていの選手が仕事を持っています。午前中はデスクワークなどをこなし、昼からが練習。野球に興味のない人から見れば「野球して給料もらっている」と思う人もいるかもしれませんが、あいさつなども徹底し、仕事にも人一倍一生懸命に取り組んでいるそうです。大会になると横断幕まで作って会社の人がちが応援に来てくれるそうです。「自分が会社の一員なんだって、一体感を感じて、とてもありがたいです」。感謝の気持ちを忘れないこと。社会人野球として忘れてはならない心がけなのです。

一流になるためには、 何かを犠牲にしなければならない

外見はおとなしそつに見えるそうですが、実際は「超」が付くほどの負けず嫌いです。野球部は勉強ができないと馬鹿にされるのが悔しくて、高校時代には一念発起、定期テストで40人中1番になったこともあります。大学でも早々に、卒業に必要な単位をほとんど取ってしまいました。

一人でコツコツ努力するのが向いているのか、趣味はウェイトトレーニングです。大学時代もアルバイト先にフィットネスクラブを選んだほどで、食事にも細かく気を配っています。僕なりの生き残り戦略でもあるんです。

遠征で一緒になったジャイアンツのある選手などは、身体に何の気も使っていないでした。彼らはそんなことをする必要がないんです。傍で見えていてつらやましいくらい恵まれた体格をしていますから。ところが、僕はそうじゃない。人の何倍もトレーニングを重ねて、ようやく彼らに何とかついていけるレベルです。

僕は天才じゃない。だから努力するしかありません。一人で黙々と走ったり、バーベルを上げたりするのは、それほど楽しいことではありません。でも中学時代に恩師がくれたことば「一流になりたければ、何かを犠牲にしなければならない」が、いつも僕を支えてくれました。「No Pain, No Gain 苦労なくして得るものなし」を自分に言い聞かせて、何とかここまでやってきました。そして、昨シーズン終了間際、ついにバッティングのコツをつかんだ気がします。10年かかってようやくたどり着いた自分なりの極意、これを世界で試してみたい。次の国際大会で僕は32歳になります。もう一度、日の丸を胸に世界に挑戦したい、何としてもリベンジしたい。そのために、さらに練習に励んでいきたいと思っています。

第39回IBAFワールドカップ 日本代表チーム主将

よこやま けんいち
横山憲一さん

三菱重工神戸野球部所属。2004年甲南大学文学部卒業。同年、三菱重工業(株)神戸造船所入社。甲南大学在学中は、遊撃手として活躍し2度のベストナインと2度の首位打者に輝く。IBAFワールドカップほかBFAアジア選手権など数々の国際大会に日本代表として選出され、2007年第37回IBAFワールドカップでは銅メダル獲得の原動力に。また、第39回ではキャプテンを務める。パンチの効いたバッティングが自慢、走・攻・守のバランスが整った社会人プレイヤー。



注目されるとがんばれる!!

新たな目標を得たシヨットメーカー。

恵まれた体格で「飛ばし屋」の風貌だが、ゴルフスタイルは、正確なシヨットを信条とするシヨットメーカー。「見ぶつきらばうなのに、人懐っこい笑顔ではにかみなから話す森祐紀さん。学生ゴルフ界では、好成績を重ね注目を集める存在です。森さんは、2012年夏、学生日本代表として選ばれ、チエコリベレッツで開催された第14回世界大学ゴルフ選手権に出場しました。世界を相手に戦ったときの感想と、大学のゴルフ部に入部して、変化したゴルフ観について語っていただきました。

気負うことなく迎えた 世界大学ゴルフ選手権。しかし…

日本代表に選出されたって、ある日、突然知らせを聞きました。予想もしていなかったし、目標にも置いていませんでした。だから特別な気負いもなく、数あるトーナメントの一つ、普段どおりに練習して納得のいく成績を積み重ねるだけだと思っていました。

ところが、大会初日の緊張感は尋常ではありませんでした。1番のティーグラウンドは手が震えてしまつて…。それくらいはたまにあることだし、1、2ホール回ればおさまるだろうとさほど気にしてなかったんです。なのに、緊張が解けないままその日が終わってしまいました。2日目、また震えが…。何なんだろう？こんなこと初めてだ。自分でも不思議だったし、頭の中が真っ白になりました。実は、トーナメント前に上がり調子だったので、優勝できるかもと思つていたんです。もう気持ちが焦つてきて、本当に日本に帰りたくなりました。

3、4日目は何とか緊張も解けましたが「日本と違つて自然が豊かなコースやな」とか「海外の選手は感情の起伏が激しいな」とか、楽しんだり他の選手の様子を見る余裕が出てきたりしたところに終わっていました。

初めての国際大会、結果は参加89名中28位。半分納得、半分不完全燃焼。体がしびれる得体の知れない緊張。日の丸を背負うってこういうことなのか、とボンヤリ思いました。

「自分のためだけにするんじゃない」。 大学で変わったゴルフへの思い。

大学に入学して、ゴルフをする環境が大きく変わりました。高校までは、コーチとマンツーマン二人でゴルフと向き合つて練習を重ねてきたという感じです。でも、大学のゴルフ部に入部し、仲間ができました。僕は注目されるのが好きなので、ゴルフ部のみんなと一緒に練習だと「いいシヨットでみんなを驚かせてやる」と、張り切ります(笑)。

環境が変化したことで、最近自分のゴルフ観も変わってきたように思います。「先輩にも負けたくない」と思ふくらい負けず嫌いなのに、後輩には「自分を追い抜くくらいがんばってほしい」という気持ちになり、練習に誘ったりしています。あと、これまでは自分のためにゴルフをやってきた感じでしたが、今は多くの人が応援してくれているからがんばろうということもモチベーションになっていきます。僕がいい成績を残すとクラブの仲間以外に、大学の友達みんなが喜んでくれるんです。授業が一緒というだけでそれまで話したことがない人なんかも大学のホームページや学内の垂れ幕を見て、「すごいな」と話しかけてきてくれます。高校のときは、家族やごく身近な人だけが喜んでくれていただけでしたが、大学では本当にたくさんの方が応援してくれている感じがします。それがとてもうれしいし、大きな励みになっています。

将来の夢はやっぱりプロになること。ゴルフをさせてくれた両親に恩返ししたいです。

森さんは、2012年10月のぎふ清流国体にも兵庫県成年男子代表チームのメンバーとして参加。団体の部では、1位と1打差の2位、個人の部では4位と健闘しました。また、「第32回こうべユース賞(2013年2月)」も受賞しました。

Yuki Mori

豪華付録、送料無料、格安旅行…。

お金にまつわる「？」が一挙解決！

会计学つて

楽オモシロイ!?

「アマゾンなど通信販売の商品の多くは、なぜ送料無料なのか?」「ファッション雑誌に豪華すぎる付録が付く理由は?」「合コンの割り勘は平等なの?」「お得な格安海外旅行。安さの秘密は?」…。一度は「どうしてこんなことが成立するのかな?」と思ったことはありませんか?

こんな風に、私たちが日々の生活の中で、疑問に感じのお金にまつわるナゾを解き明かしてくれる本が出ました。タイトルは、『20歳になったら知っておきたい会計のはなし』。甲南大学会計大学院の教員と公認会計士試験に合格した出身者で執筆しました。私たちが身近に感じるテーマに潜むお金のカラクリを、会計の知識を使い、とてもやさしく、わかりやすく解き明かしています。そのうえ、読んだ後には、何となく会計の知識が頭に入っているという、楽しく学べる「テキストでもあるのです。その中から一例を見てみましょう。

食べ放題のバイキング。 お店は利益があるの??

たとえば、「ランチ大人一人1,980円で食べ放題!」というバイキング形式のレストラン。好きなものをお腹いっぱい食べられると人気ですが、お店はどのようにして利益を上げているのでしょうか。『20歳になったら知っておきたい会計のはなし』には、ナゾを解くポイントがとてもわかりやすく書かれています。その内容を要約して簡単にご紹介しましょう。

まず、通常1,000円前後とされる客単価ですが、バイキング形式では2,000円から3,000円とやや高めに設定されています。一方で、大量仕入れによって食材費を抑えることができ、食材の廃棄リスクも減らせるのです。それだけではありません。セルフサービスによる人件費の削減、バイキングというインパクトが新規顧客にアピールすることなど、売上、仕入れ、人

件費、客層のそれぞれに儲かる仕組みがあることが見えてきます。どうして、このような本が誕生したのでしょうか?「会計が自由経済社会を支える根幹だということを、わかりやすく伝えたいという思いで出版しました。通常、会計の入りは簿記だと考えられていますが、それだけでは一般の人々の興味を引くことはできません。学生や主婦、ビジネスパーソンなどさまざまな人々に、身近な話題から会計の必要性やオモシロさに気づいてほしい。そんな発想から、この本は生まれました。好評なので、次の準備をすでに始めていて、ビジネスパーソンにターゲットを絞った本にしたいと思っています」。

「会計って何だか難しそう…」というご心配は無用。会計の視点から世の中の仕組みを考えるオモシロさを、ぜひこの機会に味わってみてください。「なるほど!」と目からウロコが落ちるような楽しさを体験していただけるはずですよ。

「20歳になったら知っておきたい会計のはなし」。ぜひご一読ください!



**カイケイ的に
世の中を見てみよう!
会計・経営・監査の
はじめのはじめ。**

20歳になったら
知っておきたい
会計のはなし
古田清和[会計大学院教授]編集代表
ビジネスアカウンティング研究会 編
TAC出版 ¥1,260(税込)

甲南大学書籍部に、特別価格でご購入いただけます(2013年5月10日ご注文分まで)。
定価1,260円(税込)→1,000円(税込)
送料80円で、日本全国への発送も可能です。
詳しくは、電話でお問い合わせください。
TEL:078-441-7901

甲南大学 会計大学院 古田 清和 教授 (公認会計士・税理士)

昭和監査法人(現・新日本有限責任監査法人)を経て現職。公認会計士試験試験委員(監査論)、日本公認会計士協会修了考査運営委員会出題委員(経営に関する理論及び実務)などを歴任。「基礎からわかる管理会計の実務(共著)」「実務のための財務会計 改訂版」など著書多数。

受け継がれるもの。

「フェンシング部復活！」

11年間休部していた大学のフェンシング部が、復活しようとしています。5人の部員が集まったことで、「同好会」として再スタートを切りました。復活の経緯を探るうちに見えてきたものは、クラブOB・OGの並々ならぬ情熱とご尽力の数々。そう、OB・OGの方々もフェンシング部をよみがえらせたのです。本格的な復活に向け、部員とOBであるヘッドコーチの杉本賢治さんにインタビューしました。

Renaissance!

右の3人のほか、
にしい まさみ
西井 雅美さん
法学部2年次
やまもと るりこ
山本 瑠璃子さん
マネジメント創造学部1年次
も所属しています。

うちやま なおき
内山 直生さん 法学部2年次

高校時代、フェンシング部でしたが、甲南には部がなかったので、他大学で練習させてもらっていました。僕が個人で参加した試合をOBの方がご覧になっていたようで、手紙をいただいたことがきっかけとなり、まず僕が入部することとなりました。部員を集めるためにいろいろなことをしてくださったり、練習に顔を出してくださったり、OBのみなさんのおかげで、自分の大学である甲南でフェンシングができるようになり、本当に感謝しています。

たにくち かずき
谷口 和希さん 経済学部1年次

僕もフェンシング経験者なのですが、ある日突然、OBの方から「甲南でフェンシングをやりませんか？」と電話がかかってきて、びっくりしました。すでに別のサークルに入っていたので、「今さら…」と思いながらも、OBの方の熱心な誘いに負け、一度練習を見に行ったら結局入部することに(笑)。「君が入ってくれないと、チームが組めない」というセリフが決め手でした。OBの方がとても一生懸命指導してくださるので、こちらもやる気になります。

すきもと けんじ
ヘッドコーチ 杉本 賢治さん 1990年理学部卒

私たちは、とても有意義ですばらしい学生生活を送りました。大学時代の友人たちとは今も交流があり、今の私たちがいるのは、まさに甲南大学、そしてフェンシング部のおかげです。しかし、休部に伴いOB会活動も次第に停滞し、非常に残念でした。ところが、昨年OB会が再開、部も復活させようという声があがったのです。

大学学生部や体育会OB・OG会連合会である甲南摂津会の方々にもご相談し、高校運動部関係者へのコンタクト、チラシの配布、立看板の作成・設置など、できる限りのことをいたしました。幸い、経験者の内山くん・谷口くんの存在を知り勧誘したところ、入部してくれました。

先輩方により、再び点された灯火を受け継いだ現役部員。また次の代へと渡していくために、今度は現役たちが努力する番です。フェンシング部の健闘を祈ります。

世界へ、グッドショット！ 質にこだわり大胆に攻める。

全国中学校ゴルフ選手権大会 男子個人の部1位 中学校2年 いしか こういちろう
石過 功一郎さん

「全国レベルの大会でよく顔を合わせるみんなと同じ組でのラウンド。リラックスして戦えました」と語るのは、昨年8月に開催された中学生全国ナバン・ゴルフアワードが決まる大会で優勝した石過くん。
「目標はもちろん優勝、最低でも2位」。日韓対抗中学校ゴルフ選手権の出場権もかかっている中で、絶対に負けられない。「調子は悪くなかったのですが、冷静かつ大胆にプレイすることを心がけました」。ドライバーとパターの調子が特に良いということばを裏付けたのが、17番ホール。バンカーに入った後の5mのバターラインが見えたのだという。終わってみれば3アンダー69のスコアで単独トップに。2日目は、13番ホールまで回ったときに荒天で中止となった。成績は初日のスコアで判定されることとなり、見事優勝を手に入れることができた。
「一球一球、目的をもって打つ。普段から量よりも質にこだわって練習しています」。中学生とは思えないほど落ち着いた様子を見せる石過くん。「世界で勝てるプロになりたい。今一番対戦してみたいのは、海外メジャー・マスターズの最年少出場記録を更新したグアン・ティンラン選手」。夢を語るその瞳には、すでに世界が見えている。

※グアン・ティンラン選手(中国)／2013年、14歳で「マスターズ」の出場権を手に、最年少出場記録を大幅に更新した。

日本一の快挙、続々と。

日本一を決める大会で生徒たちの快進撃が続いています。その中から、世界大会にも常連として名を連ねる中学2年生のゴルフファーと、将棋部のスーパールーキー2人の活躍を紹介します。また、これらの功績に対してはマロニエ賞も贈られています。

※マロニエ賞／兵庫県下の知事所管の私立学校のスポーツや文化などで顕著な成績を挙げた生徒や教職員に贈られる。

高め合ふ甲南の環境。 笑顔で伝統を重ねる2人の1年生。

アマチュアの高段者を卒業生として輩出している将棋部では、中学・高校の生徒が毎日一緒に活動し、甲南大の将棋部との交流も活発です。その成果が、数々の大会で輝かしい成績を残しています。今年、その伝統に、新たに名を刻んだ2人を紹介します。

「優勝できて、正直ホッとしています」と笑顔で肩をなで下ろす長森さん。大会中一番の山場は準決勝だった。「実は、予選で負けた相手だったんです。予選では接戦だったんですが、時間が足りずに焦ってしまい、ミスをしてしまっただけです。予選を振り返り、相手の戦術がわかってきた長森さんが再戦でつた戦法は、終盤勝負。それが功を奏し、準決勝を突破、最終的に優勝を手にすることができました。長森さんの持味は、この一番の判断力。年上(格上)を相手に1日5局、ネットで対局しているという。目標は「全国完全制覇」。全国高等学校文化連盟将棋新人大会での優勝は果たしているの、残るは全国高等学校将棋竜王戦のタイトルのみです。

一方の袴田さんは、中学1年生ながら10年近い将棋歴の持ち主。幼稚園のころから将棋を始めてその魅力の虜となり、プロの棋士をめざすようになりました。「この大会での目標は、優勝」。準決勝までは難なく勝ち進み、残るは決勝。決勝の相手は、何度も対局している人でした。お互い戦法をよく知っていたので、本当にやりづらかったです。その言葉どおり、逆転に次ぐ逆転の連続という熱戦となりました。袴田さんも試合中、負けるかもしれないと(これは勝てた!)という気持ちで何度も錯綜したと言います。最終的に優勝できましたが、そんなハラハラドキドキした決勝のことを、笑顔で振り返ってくれた袴田さん。心の中ではいろんな思いや不安が浮かんできても、対局のときは、ボーカルフォイス。それが自分の強みかもしれません。頼もしい2人のスーパールーキー。決して自分の力におごることなく、初々しい笑顔で語ってくれました。これからは強豪校の伝統を積み重ねてくれることを期待します！



第36回全国高等学校
総合文化祭将棋部門
男子個人戦優勝
ながもり ゆうき
高等学校1年 長森 優作さん

第33回全国中学校
選抜将棋選手権大会
男子の部優勝
はかまた たく
中学校1年 袴田 卓さん

大切なお子さんのために 知っておきたい “子育て10のポイント”

脳科学と発育・発達学の視点からのアドバイス

“幸せになってもらいたい”“心身ともに健康に育ってほしい”

“子どもの夢をかなえてやりたい”…。お子さんに託す願いは無数にあって当然。

だからこそ、子育てに関してはとても悩まれる方が多いでしょう。

子育てにおいては、特に“乳幼児期”から“児童期”が重要な期間となります。

長い人生を生きていく力の基盤をつくるこの時期、子どもに対しては、親からのアプローチがとても大切なのです。

知能情報学部 前田多章 准教授とスポーツ・健康科学教育研究センター 曾我部晋哉 准教授が、脳科学、発育・発達学の視点から、児童期までの子育てについて、ご参考にしていただきたい10のポイントを挙げ、解説いたします。

1 妊娠初期から
母体へのストレスを
避ける。

2 小学校入学前に
情操教育を。
小学校高学年から
思春期までは、
感情を抑える訓練を。

3 児童期から、
毎日同じ時間帯に
一定の時間、読書などの
知的作業をする
習慣をつける。

4 2歳までに
いろいろな経験を開始。
6歳くらいまでは
どんどん経験させる。

5 ものごとを考える
能力は言語の力。
しっかりとした
言語能力をつける。

6 5～6歳までの
自由遊びにより、
スポーツの素養や
創造力を養い、
社会に適応する能力を
身につけさせる。

7 手指の
細かい運動は
10歳までに。

8 幼少期において、
子どもが嫌がるほどの
強制的な運動・
学習はNG。

9 性差による
特性を知り、運動や
学習に楽しく
取り組ませる。

10 児童期の
運動能力は、学校の
成績と関係する。
朝食と睡眠時間が
基盤をつくる。

子どもの能力を育てる 5つのポイント

― 胎児期から起きている脳の変化 ―

知能情報学部 准教授 前田多章

お父さんやお母さん、あるいは幼稚園の先生方は、子どもさんにとの育ってほしいと考えていらっしゃるでしょうか。それぞれでいろいろな考えがあると思います。「学問の世界で活躍できる人になってほしい」「良き教育者になってほしい」「あるいは「世界を相手に活躍するスポーツ選手になってほしい」と千差万別でしょう。そして、必要な能力を身につけるべく養育・教育・しつけなどをされていることでしょう。しかしながら、共通しているのは、他人を思いやり慈しむ心、目標に向かい邁進できる学力・運動能力、人生の苦難を乗り越えていくタフな心と知恵をもつ人に成長してほしいという思いなのではないでしょうか。そこで私からは、この3つの能力を育てるために大事なことを解説させていただきます。

ヒトの「心」とはどのようなものなのでしょう。また、学力や運動能力とはどのようにしてつくられるのでしょうか。私のように、神経科学を専門としている研究者の多くは、ヒトの「心」は「脳」にあると考えています。成人の脳には約1,000億個の神経細胞があり、複雑に連絡し合っています。神経細胞は他の神経細胞から情報を受け取り、それを計算処理し、シナプスと呼ばれる神経細

胞同士の結合部分を経て、他の神経細胞に伝えるのです。成人では、神経細胞1つにつき、約15,000個のシナプスがあります。つまり1つの神経細胞が非常に多くの情報（一度に最大約15,000種類の情報）を取り込んで計算処理し、多くの神経細胞に伝えていくということです。脳全体の計算処理は、結果として感情や思考、記憶、行動を生み出します。脳の計算処理は、ホルモンの作用や季節、室温の変化、ストレスや疲労の影響を受けるため、これらの要因により、生まれてくる感情や思考も異なってきます。実際にはもっと複雑なシステムですが、基本的にはこのようにして「心」が実現されていると考えています。

「心」すなわち「脳」は、他人と会話をし、いろいろなことを学び、悩み、問題を解決し、他人を思いやるなどの情報処理中枢です。また、喜んだり、笑ったり、悲しんだり、怒ったり、ときには他人をねたんだりする感情の発信基地でもあります。さらに、サッカーや野球、スキーなどのスポーツをする際の司令塔でもあるのです。

つまり「脳（心）」を適正に成長させることで、子どもは先に挙げた3つの能力が身につく、ひいては多くの困難に打ち勝ち有意義な人生を送ることができるようになります。

私からは、この3つの能力を育てるにはどのようにしたら良いか、5つのポイントをご提案いたします。

1 妊娠初期から母体への ストレスを避ける。

妊娠初期から、お母さんにストレスがかからないようにしてください。「脳」は、胎児期、乳児期、そして幼児期に非常に速さで発達します。胎児期の神経細胞は、受精5週目くらいから活発な分裂が始まり、受精後5〜7か月後までにほぼすべてがつくり上げられます。そして、生後2歳くらいまでに分裂は終了します。ピーク時には、なんと毎分250,000個の神経細胞が誕生するのです。すなわち胎児期の環境、特に初期の環境が神経細胞の数に大きく影響します。胎児期の母親のストレスは、胎児に悪影響を及ぼし、生まれた子どもの海馬（記憶に関連した脳部位）が小さくなるとともに、扁桃体（恐怖に関連した脳部位）が肥大するとされています。いろいろなことに怖じ気づかず苦難を乗り越えていくたくましい子どもに育てるためには、お父さんたち周囲の人が、妊娠初期からお母さん（母体）にストレスがかからないように気遣ってあげることが重要です。

2 小学校入学前に情操教育を。 小学校高学年から思春期までは、 感情を抑える訓練を。

小学校入学前には、美しい物、おいしい食べ物、すてきな音楽、そして楽しいことをたくさん経験させてください。

3 児童期から、毎日同じ時間帯に 一定の時間、読書などの 知的作業をする習慣をつける。

長期記憶（ほとんど永久に忘れることのない記憶）に関連した海馬というところは、成人になっても分裂が進みます。このことは、われわれ人間はいくつになっても、勉強することにより海馬の細胞を増やし続けることが可能であることを意味します。そのため、児童期から、毎日同じ時間帯に一定の時間、

読書などの知的作業をする習慣をつけてください。児童期の習慣は生涯にわたって大きく影響します。ちなみに勉強を強要するのではなく、母親が読書をする姿を日常的に見せるのが効果的です。

4 2歳までにいろいろな経験を開始。6歳くらいまでは、どんどん経験させる。

成人の神経細胞は、1個あたり約15,000個のシナプスを持っていますが、生まれたばかりの赤ちゃんの神経細胞のシナプスは、約2,500個です。それがどんどん増えて、2歳くらいまでに最大密度となり、その後一旦減少、成長に合わせて再び増えていきます。このことは、ヒトは2歳くらいまで、周囲の状況を乱雑に学習(非体系的に吸収)し、その後それまでの経験に基づき、体系的に学習していくということを意味しています。そこで2歳くらいまでには、子どもにも多くの経験をさせることを開始してください。実際にやらせて、変化を体験させましょう。何をしたらどのように変化するかを学ばせ、物事には因果関係があることを理解することにより、洞察力のある子どもが育つのです。

5 ものごとを考える能力は言語の力。しっかりとした言語能力をつける。

生後1年の間は、接触したことばの「音」に対する感受性が非常に高くなり急速な発達をします。6歳児は、成人と比べると80%ぐらいまで完成しますので、この時期に多くの細胞や連絡経路を増やしてあげることが、大人になった時の容量を増やすことになります。実際に、7歳以下でピアノを始めた人は、7歳以上で始めた人よりも良いパフォーマンスを示すことが報告されています。しかし、7歳までに始めるのが良いからといって、ピアノだけをずっとやらせるのは子どもの能力を制限することになります。幼少期の感受性の高い時期には、投げる・蹴る・跳ぶなどのさまざまな動きの基礎を習得できるようにしてあげましょう。

ただし、大人でも運動を始めるのに遅すぎるということはありません。人生を充実したものにするという考えであれば、いつでも思い立ったときに楽器演奏や運動などを始めてみてはいかがでしょうか。

8 幼少期において、子どもが嫌がるほどの強制的な運動・学習はNG。

幼少期は、親の保護責任のもとで育てられ、自立して生活することはできません。そのため、家庭の環境が、子どもに直接影響を及ぼすと考えられます。人間が成長するうえで、ストレスを除去することはできませんが、一貫性のない厳しいしつけや、健康状態を損なうほどの家庭内の放置(ネグレクト)の

ます。つまり、赤ちゃんがこの時期に日本語を使用する環境にいると、赤ちゃんの脳が「日本語を覚えなければ!」と感じて、他の言語に対するよりも感受性が非常に高くなり、日本語を積極的に学習できるようになります。そして、6歳までには言語能力の基礎(ものごとを考える能力の基礎)がつけられ、12歳ごろまでに完成します。それでは英語の早期教育はどうでしょう。もちろん、生後1年の間に英語環境にいると、英語に対する感受性が高まります。ただし、文字を見せるだけで英語をCDなどで聞かせるだけではだめ。赤ちゃんとのやりとりが必要で、それによって赤ちゃんの脳が「英語を覚えなければ!」と感じるのです。

以上、ご参考にしていただければ幸いです。「うちの子どもには、適切な時期にここに書いてあることをしてやれなかった…」というお父さんお母さんがいらつしゃっても、ご安心を。6歳を超えても、適切な刺激を与えると、発達が加速するという「追いつき現象」があるので、心配されずにこれからの環境を整えてあげてください。きつと「追いつき現象」が見られると思います。

子どもの体の健全な発達を促す

スポーツ・健康科学研究センター
准教授 曾我部晋哉

ような精神的な苦痛、虐待のような身体的な苦痛は、生理的な影響をもたらします。これらの強いストレスを受けると、血圧や心拍数とともに血中のストレスホルモン(コルチゾール)濃度が上昇します。そのことにより、脳発達における脳のシステムに影響をもたらします。幼少期のストレスは海馬(脳内における記憶に係る器官)の体積を減少させ、成人してから本能的な感情を抑えることができなかつたり、さまざまな状況を理解し判断する能力に影響を及ぼすといわれています。そういう意味では、子どもが運動や勉強が嫌になるような幼少期の強制的な学習方法は、長い目で見ると必ずしも良い影響がでるとは限りません。

9 性差による特性を知り、運動や学習に楽しく取り組ませる。

男児と女児では、何となく行動や性質が異なるように思います。生まれたときから男の子は、興味あるものを何でも口に入れ、逆に女の子は、危険なことに慎重な態度を示す傾向にあるようです。実際はどうなのでしょう。年少から年長までの650名を対象に、幼稚園担任教諭へアンケートを行った調査では、「身体活動が好き」「食べ物の好き嫌いが無い」の項目において、どの学年においても男児が高く、「室内遊びが好き」「粘り強さ」「集中力」「責任感」世

身体的な面から、子どもさんの発育・発達を健全に促す5つのポイントをご説明します。とはいっても、体と脳は密接にかかわっているもの。健やかな精神状態や脳の発達と、体の成長は切り離せませんし、逆に、乳幼児期〜児童期に身体を動かすことが、脳(心)にいい影響をもたらすこともあるのです。親御さんや教育者のみなさんは、常にそのことを念頭に置き、子どもさんと向き合っていたきたいと思えます。

6 5〜6歳までの自由遊びにより、スポーツの素養や創造力を養い、社会に適応する能力を身につけさせる。

最近では、幼児でも非常に多忙な生活を送っている家庭もあるようです。幼稚園が終わると、ピアノ・水泳・英語などの習い事でスケジュールがびっしりと詰まっております。大人でも息が詰まりそうです。しかし、6歳ごろまでは運動に深くかわる小脳の分裂が進むことから、この年頃までに、屋外で自由かつ多様な行動・運動をさせてあげなければいけないのです。この経験がないと、身体的発達が不十分になるとともに、スポーツに関する素養が育たないとされています。また、自由遊びは、創造力を育成すると同時に、自分自身を落ち着かせる手段でもあります。74名の園児を対象に、入園初日の不安度を

10 児童期の運動能力は、学校の成績と関係する。朝食と睡眠時間が基盤をつくる。

小学校のときを思い出すと、運動のできる子どもは、学業成績も良い子が多かった記憶がありませんか? 全国学力・学習調査および全国体力・運動能力調査から、学力と運動能力との関係を調べた報告では、各都道府県とも、体力得点が高いと学力平均点も高いと報告されています。特に、持久力(シャトルランテスト)が高いと国語と算数の成績が良い、つまり体力があることで勉強を集中して持続することができるといことです。この運動能力と学力の基盤にあるのは、睡眠・栄養などの生活習慣のようです。朝食を摂っている児童と摂らない児童では、学力・体力とも朝食を摂取する児童の方が高く、8〜10時間

調査した研究では、全員に話を聞かせたり数名で遊ばせたりするよりも、一人で創造的な遊びをさせた方が、不安が少なかったと報告されています。子どもが幼稚園で、一人ぼっちになっているのを見ると、「社会性がないのではないか」と不安になることもあります。場所や人に慣れるまで、自分自身の世界の中で心を落ち着かせているのかもしれない。また、友達同士の自由遊びが不足すると、社会にうまく適応できない大人になる可能性も示唆されています。マウスを用いた実験では、最も自由に遊ぶ時期に隔離した雄のマウスは、その後集団に入れると、強い雄マウスから攻撃を受けても、正常にそれを避けることができなかつたとの結果が出ています。自由に体を使ったり創造力を働かせて遊ぶことで、突発的な事態に備え対処するためのシミュレーションができる能力も養われると考えられているのです。

7 手指の細かい運動は10歳までに。

幼少期に正しいお箸の持ち方を習得していないと、大人になってから正しい持ち方に変えようとしても、非常に苦労します。それはなぜでしょうか? 生まれてから大人になるまで、すべての器官が同じスピードで発育・発達するわけではありません。特に、脳の指令を筋肉に伝える神経系の回路は、未就学期の間に

の睡眠をとる児童は、そうでない児童に比べ学力・体力ともに高くなっています。われわれ大人は、児童期の子どもが安定した生活を送れるような環境を提供する責任があるといえるでしょう。

いかがでしたでしょうか? ちょっとした工夫や努力でできることばかりです。ので、お役立ていただければと思います。子どもたちが健全に育つことで、明るい未来がひらけていきますように。

この2人がそれぞれの研究内容をもとに開催する講座は非常に好評で、甲南大学はもちろん、東京の幼稚園、幼児教室などからもご依頼いただき、講座を開催しています。本年6月にも、甲南大学の東京オフィス「ネットワークキャンパス東京」において、両名が講座を開催します。

「幼少期のストレスは子どもの発育・発達にどのような影響を及ぼすのか」ー阪神・淡路大震災から18年。子どもの発育に影響はあったのかー(仮)

料金	懇親会費込 2,000円	6月7日(金) 18:30~	(脳科学編) 前田多章准教授	6月20日(木) 18:30~	(発育・発達学編) 曾我部晋哉准教授
----	-----------------	-------------------	-------------------	--------------------	-----------------------

詳しくは、電話03-6266-9520(ネットワークキャンパス東京)へお問い合わせください。もしくは、インターネットにて「甲南大学ネットワークキャンパス東京」でご検索ください。

※PTSD

PTSDは、Post traumatic stress disorderの略。「外傷後ストレス障害」と訳される。危うく死ぬ、または重症を負うような出来事の際に心に加えられた衝撃的な傷が元となって、さまざまなストレス反応を引き起こす疾患のこと。

「思い出したくない出来事を思い出してしまっ」なんて、これまでに経験したことがないから、多くのトラウマ体験者を動揺させてしまします。でも海外の研究では、PTSDを発症しているようにいなかろうと、トラウマを体験した人の大半がつか

♥「過去との付き合い方プログラム」―忘れるのではなく、過去との向き合い方を変える

でも、過去を思い出すことは人間が生まれながらにしている機能ですし、それが未来に生きていくための知恵にもなっています。たとえば事故に遭って生き残れたのであれば、生き残れた何らかの原因があるはず。その原因が見いだせれば再び同じような目に遭わないよう、何らかの対策を講じることが出来ます。過去の記憶があるから、それを教訓により良く生きていける可能性が生まれる。だから、過去を忘れられずにいる自分を否定したり、責めたりする必要なんて一切ないんです。

たとえば、思い出したときの恐怖や不安からくる緊張をほぐすため、プログラムの最初にリラクセーションを行います。緊張がほぐれると、体も頭も動かしやすくなりますよね。また体験者の多くがトラウマを思い出すと、「あのとき〜していれば、今こんなに苦しまなくてすんだのに…」など、今考えてもどうすることもできないことはかり考え続け、そのとき対処できなかった自分を必要以上に責めてしまします。そのようなときの対処法と

すでに、多くの人に「トラウマを思い出すこと」について知ってもらうため、昨年は『「つらい過去」との上手な向き合い方講座」を開催しました。知識があれば、自身だけでなく家族や友人など、身近な人がつらい目に遭ったときにも落ち着いて対応できるかもしれませんし、問題の予防にもつながりますよね。今後も続けていく予定です。トラウマとなるような体験がない人にもぜひ関心をもっていただきたいです。

また、つらい過去を思い出すことは自分だけではないし、ましてや自分のせいではないと知っていれば、ずいぶんと気持ちが楽になるのではないでしょう。でも、一般の人がこのような知識を得る機会はまだ多くないです。知らないがために、苦しみを抱え続ける結果になってしまう可能性があります。その可能性を少しでも排除する必要があります。

また、つらい過去を思い出すことは自分だけではないし、ましてや自分のせいではないと知っていれば、ずいぶんと気持ちが楽になるのではないでしょう。でも、一般の人がこのような知識を得る機会はまだ多くないです。知らないがために、苦しみを抱え続ける結果になってしまう可能性があります。その可能性を少しでも排除する必要があります。

また、つらい過去を思い出すことは自分だけではないし、ましてや自分のせいではないと知っていれば、ずいぶんと気持ちが楽になるのではないでしょう。でも、一般の人がこのような知識を得る機会はまだ多くないです。知らないがために、苦しみを抱え続ける結果になってしまう可能性があります。その可能性を少しでも排除する必要があります。

文学部 人間科学科

大澤 香織 講師

臨床心理学博士。早稲田大学人間科学部卒業、北海道医療大学看護福祉学研究科博士後期課程修了。主にトラウマティック・ストレスの維持・悪化のメカニズムに関する研究と、認知行動療法を用いたトラウマケアに携わる。趣味は温泉巡りとドライブ。



なるほど！
甲南
アカデミア

記憶の森に迷い込んだ 心に道しるべを

「心の傷―トラウマからの回復をめざして」

交通事故や自然災害、暴力などで命にかかわるような危険な体験をしたり、他人がそんな目に遭っている情景を目の当たりにすることで受ける心の傷を「トラウマ」と呼びます。実は、このトラウマに秘かに悩み、苦しんでいる人は数多くいるとされています。放っておくと心身の健康が損なわれるばかりでなく、日常生活にも支障をきたしてしまうトラウマの問題にどう対応したらよいのでしょうか。文学部人間科学科の大澤香織講師が解説いたします。

ウマとなっていることで起こってくる反応です。
ほかに、トラウマとなった出来事と似たようなニュースやドラマのシーンを見ると、恐怖感や音、臭いなどが一挙によみがえってくる場合があります。また、何のきつかけもないのに、不意にそのときのことを思い出して勉強や仕事、家事などがまったくできなくなってしまうこともあります。
このように、忘れてしまいたい過去の記憶が呼び覚まされることで、再び過去に戻ったような感覚に陥り、苦しめられることがあります。そのため、トラウマに悩まされている人たちは、何とかして過去を忘れるようにがんばってしまいがちです。「いつまでも過ぎ去ったこと」にこだわってないで、もっと前向きに生きなきゃ」と自分に言い聞かせたりする。
そう努力しても、また過去のつらい記憶がよみがえってきてしまう――実は、人は何かを「忘れる」ことができないようにしよう」と意識すればするほど、そのことが頭に浮かんできやすくなる。ことが心理学の研究から明らかにされています。つまり「忘れたい」と思っで必死にもがけば、むしろ、つらい記憶が当時の苦痛や恐怖とともによみがえってきてしまう。これって、本当につらいことですよ。

♥忘れられない自分を責めないでー
思い出すことは人間がもつ機能であり、生きていく知恵にもなる

トラウマを抱えている人たちのほとんどが、はじめでがんばり屋さんです。そういう人は、つらいして、頭に浮かんでくる考えが自分を苦しめるだけのものになっていかを一緒に見直し、自分を責め過ぎないようにするワークを行ったりします。そのほかに、思い出した時にきちんと乗り越えられた自分を認めてあげたり、励ましてあげる練習なども行っています。こうしたトレーニングを繰り返すことで、過去の記憶と落ち着いた気持ちで向き合えるようになっていきます。

これらのワークの基本になっているのは、私が専門とする「認知行動療法」と呼ばれる心理療法です。認知行動療法は、その人が抱える問題や症状を悪化させたり、悪循環に陥らせてしまう考え（認知）やふるまい（行動）のパターンを見直し、変化させることで問題を解決したり、症状を和らげることをめざす心理療法の総称です。認知行動療法では「その人が過去にどのような体験をしたか」よりも、「過去の体験によって、今どのような行動をし、考えたりすることがその人の問題を悪化させてしまいか」を重視して、治療に当たります。過去との付き合い方プログラムも、この認知行動療法の考え（理論）に基づいており、「過去の出来事を思い出してどんなことを考えたり、どんな対応（行動）をしていると、その人を苦しめてしまいか」に焦点を当てて問題解決に当たっています。そのため、過去の体験について詳しく語るワークは特にありません。なので、「つらい出来事を話さなくてはならない」と構えることなく、少しは気持ちを楽しみ参加してもらえないのではないかと考えています。

♥過去に苦しんでいる人々に、安心と笑顔を

「どうしてトラウマの研究を始めたのですか」ってよく尋ねられるのですが、私自身はのんびりと生きてきた人間で、特に自分や周りの人がつらい目に遭ってきたわけはありません。ただ、大学に進んで臨床心理学を学び始めたときに、不思議なデータに気づいたことがきっかけで、トラウマの研究にハマってしまっただけです。

当時は阪神・淡路大震災が起こった後という

過去との付き合い方プログラム

本文でご紹介した「過去との付き合い方プログラム」にご関心のある方、参加をご希望の方には、詳しい内容を記したパンフレットをお配りしております。パンフレットをご希望の方は、「氏名」「パンフレット郵送先のご住所」「連絡先（電話番号、メールアドレスなど）」「パンフレットの必要部数（冊）」を記載の上、メール（kako.program@yahoo.co.jp）もしくはFAX（078-435-2682）にてお申し込みください。その際、件名には「パンフレット希望」と明記してください。

トラウマに悩んでいる人は、つらい体験をがんばって乗り越えた後も苦しみ、それでも希望を捨てずに生活しています。そんな人たちの希望を裏切りたくないし、裏切れない。そのためにも研究を続け、トラウマを抱えた人々のニーズに確かに応えられるようなケアを提供していきたい。そのための努力を、これからも重ねていきたいと思っています。

臨床心理学の研究は、心理的な問題に悩んでいる人々のためにあるもの。私にとっても研究を行う理由はただ一つ、患者さんがいるからです。患者さんの暗く沈んでいた顔が、治療を受けているうちに笑顔に変わっていくと「やったー！」「つてすっごくうれしくなります。患者さんの笑顔が見たい。」そんなささやかな願いが、私にとっては研究を進める大きな原動力になっています。

臨床心理学の研究は、心理的な問題に悩んでいる人々のためにあるもの。私にとっても研究を行う理由はただ一つ、患者さんがいるからです。患者さんの暗く沈んでいた顔が、治療を受けているうちに笑顔に変わっていくと「やったー！」「つてすっごくうれしくなります。患者さんの笑顔が見たい。」そんなささやかな願いが、私にとっては研究を進める大きな原動力になっています。

その理由の一つとして、治療がつらい過去を思い出すきっかけとなると思っで、不安になってしまいうことが考えられます。これまでで、がんばって「忘れる」としてフタを締め続け、どうにか生活してきたのに、それが崩されてしまうと思っでいる方が少なくないように思います。思い出したときの苦痛と恐怖を知っているからこそ、治療への抵抗感が生まれてしまっで。でも、そのつらさや恐怖は、頭の中だけで起こっていること。怖いと思っでいるものは、あくまで頭の中にある「記憶」なので。思い出したからといって、出来事そのものが現実には蘇ってくるわけはありません。PTSD（※）治療の専門家として著名なエドナ・B・フォア先生は、患者さんに必ず「記憶はあなたを傷つけません」という言葉がけを行います。最初のうちは、この言葉がけに患者さんはなかなか納得してくれませんが、頭

生協の内田さん



学生を陰で支える、2児のお母さん。

大学の組織ではありませんが、学生たちが充実した生活を送れるように、サポートして下さっている生活協同組合(以下、生協)。甲南大の生協では、学生のための投書箱―ひとことボックスがあり、生協への意見、要望、質問などを伝えることができるようになっていきます。学生の声には、生協の方がとても丁寧に回答してくださり、生協に掲示されます。そのため、ひとことボックスを通じて生協の方とコミュニケーションを図ることが、一部の学生の間で、楽しみになっているようです。そのやりとりの中から一例をご紹介します。

質問

ほほえましく、心が温くなる
生協と学生のやりとりの一部を
をご紹介します。

うううーん、生協のページが
たくさん、ありがとうございます。
おねがいします。(内田 真紀子)

9月20日

生協 / 内田 真紀子

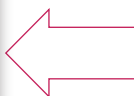


回答

うううーん、生協のページが
たくさん、ありがとうございます。
おねがいします。(内田 真紀子)

9月20日

生協 / 内田 真紀子



私にできることは、新しい発想で物事を提案すること、悪い習慣を破ること。役割分担です。仕事のトラブルはしょっちゅうですが、逃げて仕方がないので、原因が何かをよく考え対処しています。前向き、がんこな性格で乗り越えている感じです。

私は「働く」ということではなく、「社会とかわりを持っていたい」ということにこだわっています。だから今仕事をしたいなかつたとしたら、ボランティア活動に取り組んでいってほしい。学生時代、母が病気で輸血を必要とすることがあり、それがきっかけで献血に協力したいという思いが強くなって、献血を推進する学生団体を立ち上げました。以来、ボランティアに関心が強いんです。

8歳になる上の娘は、私ががんばっていると思っていて、みたく、「オトナになったらママみたいに働く」と言ってくれています。うれしいですね。家事も仕事も一生懸命やる私の姿を見て、何かを学んでくれれば、子どもにずっとついていてあげられない分、

学生の声に回答するというシステムを考えたのは、生協専務理事の内田真紀子さん。どうしてこのようなやりとりをすることになったのでしょうか？

「ひとことボックスは、私が甲南大の生協でお世話になる前からありました。でも、投書は月に1、2通だけ。ほとんど機能していない状態です。私は、『これを従業員の働く意欲の向上に使えないかな?』と思ったんです。誰だって誉めてもらえればうれしいもの。ましてや誉めてくれる人が生協組合員である学生さんならなおさらです。サービスの向上につながることも考えました。学生さんだって自分の意見が取り入れられたら満足してくださるでしょうし、希望の商品が入らないことがあったとしても、きちんとその理由を説明されれば、納得されると思っただけです。そんなことから始めましたが、最近学生さんとのコミュニケーションが活発になってきて、生協への意見だけでなく、恋愛のことなどの相談事を書いてくれる人も多くなりました。私だけでなく、各従業員が適宜回答させていただいています。回答内容にも個性が出るので、それも学生さんに好評のようです。学生さんからのメッセージを読むと、甲南大のカラーが良くわかります。こちらが一生懸命に回答すると、

そういう教育の仕方もあるかなと考えています。同じく子育てをしながら働くことを志す女性には、「内田にできるんなら、私も!」と思ってほしいですね。無理しすぎず、でも一生懸命に努力すれば、何とかできますよ!

こんなすてきなお母さんが、学生を支えてくださるお一人だと思つと、心強いですね。

オリジナルグッズ

内田さんは、甲南大オリジナルの商品開発にも意欲的です。経営学部の西村ゼミとコラボレーションして、カレー、スポーツウェアなど、今までになかった商品を生み出しています。

「甲南大のある岡本は、梅で有名な地域。来年には、岡本の梅を使った梅酒が完成する予定です。甲南OBが社長をされている福壽さん、西村ゼミと生協の共同開発なんですよ。お酒は生協で売れないので、販売はどこの酒屋さんになりますか?」と内田さんはお話しくださいます。オリジナル梅酒、楽しみです。

オススメは

甲南大学オリジナルキュービーです。3つのキャンパスそれぞれのキュービーを学生さんと一緒に開発しました。アメフトのチアバージョンもあるんですよ。



六甲アイランド限定
チアキュービー
450円



FIRST限定
キュービー
450円



CUBE限定
魔法使いキュービー
450円



岡本キャンパス限定
KONAN BOY & GIRL キュービー
セットで700円



オリジナルマフラータオル
各色1,000円

○甲南大学オリジナルグッズは、インターネットでもご購入いただけます。

<http://www.knu.jp/sale/goods.html>

お電話でのお問い合わせ先 / 078-441-7902



すでに品切れで入手が難しい、甲南大学キュービー(卒業バージョン)を内田さんよりご提供いただきました。10名さまにプレゼントいたします。同封のアンケートはがきにてご応募ください(締め切り:2013年5月20日消印有効)。

読者
プレゼント

それが伝わって、また一生懸命なメッセージをくれる。明るく、元気で人なつっこい学生さんが多くて、とてもすてきな大学だと思っています」と、内田さんはお話しくださいます。

回答にあたっては、下調べを入念にするため、いつも持ち歩いて電車の中などでも書いていっしょやるそうです。そんな内田さんほか生協のみなさんの真心が学生に伝わり、ひとことボックスに多数のメッセージが寄せられているのかもしれない。

専務理事は、 2児のお母さん!



甲南大学生協同組合 専務理事
うちだまきこ
内田真紀子さん





アメリカへ留学！初の学内テストで惨敗！

現地の学生の学習スタイルを研究！英語が母国語の彼らより努力する。だんだん英語力が上がってきた。

冬休みにヨーロッパへ一人旅。いきなりトラブルに巻き込まれる！

「もっと自分を鍛えないと。それに、考えた俺って教養がないな」と思い、冬休みの1か月間、美術館などがたくさんあるヨーロッパへ一人旅。初日にいきなり乗り継ぎの飛行機に乗り遅れ、まだまだ不慣れな英語で航空会社と交渉。何とか乗り切る。

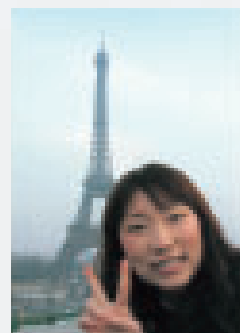
だんだん英語が話せるようになり、パーティーやフェイスブックなどで、友人関係が広がって楽しくなってきた！知らず知らずのうちに英語でのコミュニケーションや社交のスキルが身についている。

8月からニューヨーク州立大学バッファロー校へ留学。経済、経営の専門を英語で学ぶ。勉強してきたけど、まだまだ聞き取れない単語やフレーズが多い授業に、ICレコーダーを持参し、録音、寮で復習と次の日の予習に取り組む。

これでテスト前の勉強もすれば大丈夫かと思っていたところ、秋の中間テストで惨敗！「せっかく留学できたのに、これじゃダメだ」と反省。アメリカの大学生の学ぶ姿勢を研究してみる。彼らは、平日は、授業の後にも図書館や寮で深夜2時、3時まで勉強する。まったく遊ばない。その代わり、金曜と土曜の夜は、友達とパーティーを開いてとことん楽しむ。メリハリがついている。僕は、英語が母国語の彼らよりもっとがんばらなければならぬ。毎日、夜ふけまで勉強するようにになった。

Sophomore Year

2年次 2010



後期には、世界的なパフォーマンスグループ「Blue Man」に、西宮北口で街頭パフォーマンスを披露してもらい、西宮市の活性化を図るプロジェクトに参加。甲南OBである株式会社CHINTAIの会長さんが「母校の学生のために」と企画してくださった。プロデューサーの方と打ち合わせをしてスケジュールを組んだり、市役所や企業、商店街を巡って参加をお願いしたりした。「どんな利益があるの？」「数字を出して」と厳しい指摘や質問も受け、客観的根拠の重要性を実感。東日本大震災の影響で中止になったけど、たくさんの方のサポートで、社会に出れば、苦労してつくった企画が実現しないこともある。貴重な経験をさせていただいたことに感謝。

☆(^-^)

ほんの少し前まで外国人と目を合わせることさえできなかった私が、6週間のイギリスリーズ大学への留学にチャレンジ。目的は、英語力強化と、異文化の中に一人で飛び込んで自分を鍛えること。

通学初日の帰宅時に、右も左もわからない土地で迷子になるというハプニングが！下手な英語でたくさんの方に質問しながら、30分で帰れるところを4時間かけて帰宅！これで度胸がついた。

帰国後のTOEIC®では、リスニングのスコアが約100点もアップ☆

夏休みに、イギリスに留学。初日にそれまでの人生最大のピンチが！

留学のおかげでTOEIC®のリスニングスコアが約100点もアップ☆総合点は、990点満点中425点→670点に！

甲南OBである株式会社CHINTAI会長のご厚意で、西宮市の活性化に取り組む！



入学時のボク TOEFL iBT®が120点満点で30点台。悲惨(泣)。

猛勉強でTOEFL iBT®が、30点台→60点台へ！留学の切符をゲット！

昔から留学が夢で、CUBEの特別留学コースへ。現地の大学生に混じって経済や経営を学ぶことに魅力を感じた。

中学・高校と野球一筋だった僕、実は英語が苦手。入学直後のTOEFL iBT®は悲惨な30点台(満点は120点)！提携校へ留学するには、60点以上が必要。ピンチだ！

以来、先生に質問攻め、昼休みはキャンパス内のイングリッシュゾーンに行き、ネイティブの先生と英会話、夜遅くまで大学で予習復習、帰宅後も勉強。CUBEには、留学経験のある人や英語力の高い人が多く、みんな学ぶ姿勢が真剣。そんな友人がいることも、大きかった。1年次の3月にはTOEFL iBT® 50点台、その翌月には62点！努力した分、達成感が大きい。あつという間の1年間だった。

Freshmen Year

1年次 2009

進路指導室で目にしたCUBEのポスター。他大学とは違い、「大学でどう学ぶか」「こんな未来がある」と明記してあったのが印象に残り、何となく受験。

入学直後の私は、夢もなくモチベーションも低かった。でも、CUBEの学びが私を変えた。先生の話を聴くだけではない双方向の授業ばかり。数えきれないほどのプレゼンテーション(発表)を経験。印象的だったのは、約3分間のポスタープレゼンテーション。研究内容をポスターにして、英語で発表する。私のテーマは「自由の女神」。像の構造や歴史について調べた。ヘタな英語でも、思いを込めることが大切だと気づいた。この経験が自信となり、2年次に留学しよう！と決意。

高校の同級生に会うと、「何でそんなに勉強するの？」と質問され、他大学に進んだ友達との意識の差に驚いた。CUBEの子たちは、学ぶことに情熱的で、輝いている。

入学時のワタシ 夢、なし。モチベーション、普通。

英語でプレゼンテーションする授業が私を変えた！

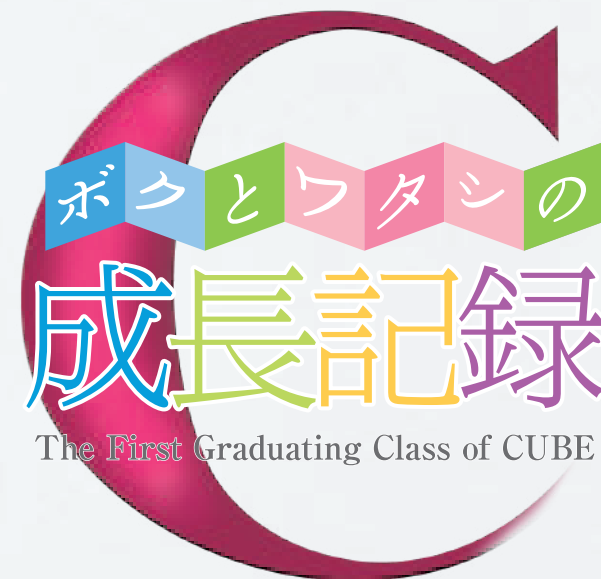
「もっと勉強したい！」みんなで署名を集めて、大学にキャンパス開館時間の延長を嘆願。結果、21時→23時に延長！



ちはら しゅんすけ
千原 俊介さん
マネジメント創造学部
特別留学コース4年次

高校生のボク
勉強嫌いな野球少年。
小学生に間違われるほど、
童顔(・・)；

My high school days



CUBEの愛称で親しまれるマネジメント創造学部から、初の卒業生が巣立ちます。新しい学びのスタイルのもと、実践的なプロジェクト型学習を中心としたカリキュラムで、「自ら学び、共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を育んできた学生たち。どのような4年間で過ごし、成長してきたのでしょうか。いよいよ、社会に羽ばたくお二人に、充実感いっぱいだったCUBEでの学生生活についてお話をいただきました。



やました はるか
山下 遥さん
マネジメント創造学部
マネジメントコース4年次

高校生のワタシ
マジメなだけで、
面白みのない優等生。
人の記憶に残らない(T_T)

My high school days

がむしゃらに
目標達成。



英語を使いこなす
国際派のボクに。



岩谷産業株式会社 内定

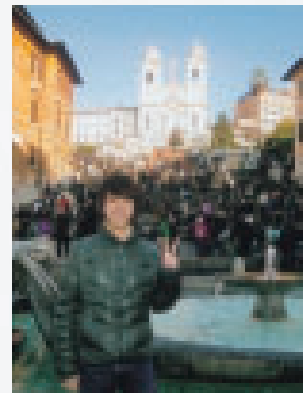
CUBEでの大学生活は、がむしゃらに努力して目標を達成した4年間でした。就職後は、世界のさまざまな国で仕事をし、自分とは異なる考え方や文化への理解を深めたいと思います。そのために、世界中の言語をマスターするぐらいの情熱で学び続けたいですね。



留学中のことをアピールし、第一志望の商社に内定！

卒業研究は、文献丸写しではなく、自分で調べ、考えた結果をプラス。高評価をいただく！

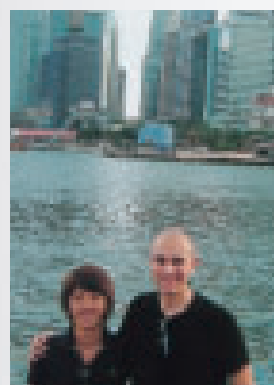
就活の面接では、留学体験をアピール。第一志望の商社に内定！
ユツケを原因とする食中毒による死亡事件が発生し、卒業研究のテーマを「食の安全性」に。焼き肉屋でアルバイトをしていたため、他人事と思えなかったからだ。担当の高永才教授は、「文献を書き写すだけではダメ。自分で調べたことや考えたことを書き、世の中の役に立つ論文を完成させよう」と教えてくださった。神戸市と尼崎市の食品衛生管理担当の方に電話インタビューするなど、自分なりに調査・研究を進める。食品メーカー、飲食店と消費者の間で情報が共有されておらず、消費者側の意識も低い。市町村も、財政規模などによる格差があり、消費者への意識喚起が徹底できない。問題が数多くあるのだ。現場の声を聴くことの重要性を痛感した。社会人になっても生きる貴重な経験ができた。



プレゼンテーションの授業。リーダーが動かない！自ら率先してメンバーをまとめる。

TOEIC®のスコアが、990点満点で、200点→770点に！CUBEの先生もビックリ

留学生活後半は、英語力を伸ばすためにプレゼンテーションやグループワークに取り組み授業を数多く受けた。
ある授業で、一緒にプレゼンテーションするグループのリーダーがなかなか動かない。できるだけ早く準備をスタートさせて、資料作成や発表の練習もしたいのに。思い切って自分からメンバーに「ミーティングしよう」と声をかける。それ以来、僕が全員の担当を決め、準備を取り仕切り、無事プレゼンテーションを成し遂げた！結果的にリーダーの役割を果たし、「やる気になれば、みんなをまとめることができる」という大きな自信につながった。
3年次の5月には、バッファロー校のプログラムでシンガポールのSIM (Singapore Institute of Management) において経営を6週間学び、上海視察を経て帰国。



帰国後、ネイティブスピーカーの先生方に「英語力が伸びた」と驚かれた。その年の冬に受けたTOEIC®のスコアは、990点満点で、770点！高校3年生のときは、200点台(汗)。驚異的な伸び率！

Now 2013

Senior Year 4年次 2012

Junior Year 3年次 2011

果敢に、
まずは行動。



行動して
未来を開く
ワタシに。



株式会社 エヌ・ティ・ティ
マーケティングアクト 内定

「行動すれば、未来は変わる」と教えてくれたCUBEの学びと先生方に心から感謝しています。卒業後は、3年次にお話を伺った秘書の方と同じ通信業界に進むことになりました。その方の自信と努力に真付けされたカッコよさを目標に、全力で仕事に取り組みます。



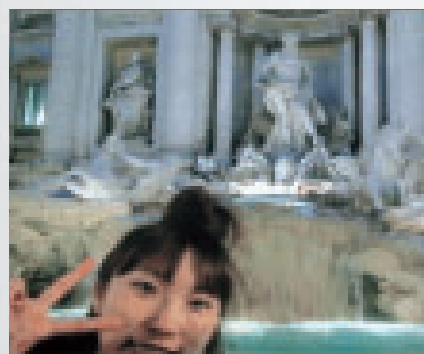
就活は、第1志望の会社と
もう1社から内定！

充実した卒業研究のために、積極的にいろいろな方を訪ねて調査。無事完成！

自信をもって就活に臨み、4月には第一志望を含む2社から内定をいただく！
以後は、卒業研究に没頭。過去から未来へと続く神戸の魅力をテーマに調べ始めた。テレビで神戸の歴史を楽しく説明される田辺真人先生を知り、「この方にお話を伺いたい！」と、いろいろな手段でアタック！お会いすることができた。しかも、田辺先生のご紹介により、さらに人脈が広がる。充実した取材で、「私にしか書けない」論文が完成！
4年間で、自分でも驚くほど成長できた。高校時代までは、親や先生が用意してくれたことをうまくこなしていただけ。でも今は、自分で未来を切り開いていける。



1万字の論文が課題の授業、高永才教授の「ビジネス研究プロジェクト」を選択。大型医薬品の特許が一斉に切れる製薬業界の「2010年問題」を切り口に、武田薬品工業株式会社の組織経営や戦略を研究。完成した論文は、高く評価していたいただいたものの、「私じゃなくても書ける論文だった」と、反省。
就職活動目前で、これまでに振り返り、「自分なりにいろいろなことに挑戦してきたけど、統一性がない。何か自分をアピールできる柱が必要だ」と考えるように。そんなとき、佐藤学部長に「とにかく動け」と言われた。そのことばに背中を押され、東日本大震災の被災地へ。状況を直接自分の目で確認したかった。授業で聞いた「メディアの情報すべてが真実とは限らない」という先生のことばが印象的だったからだ。向こうでは、ノーベル平和賞を受賞されたムハムド・ユヌスさんの講演会にも参加した。何とも言えずあたたかい気持ちに人を与える方だった。その後も、佐藤教授の紹介で通信業界大手の社長秘書の方など、第一線で活躍する約20人の方にお話を伺うことに。勇気を出して動くことによって視野が広がり、就職活動への意欲と自信が育まれてきた！



1万字の論文を完成。

東北の被災地を訪ね、
ノーベル平和賞受賞者
とも対面。

就職活動の一環で、社会の
第一線で働く方を教授に
紹介していただき、面談。

漢字廃止と硬式テニス

清水善造は1908年に東京高等商

会での清水善造の「やわらかなボール」の逸話を一度くらいは耳にしたことがあるだろう。

1920年、日本人として初めてウィンブルドン大会に出場した清水善造は次々と勝ち進み、アメリカ人選手チルデンと決勝進出をかけて戦った。それは第三セットで起こった。チルデンが足を滑らしコートで転んだとき、清水は彼に「やわらかなボール」で返し、結果的にはこの試合に敗れたという話である。この逸話は戦前から戦後を経て高度成長期まで学校の教科書に取り上げられ語り継がれてきた。これは私の記憶の奥底にもかすかに残っていたが、平生鈇三郎日記第六巻に清水善造の名前を見た瞬間に鮮明に蘇ってきた。

業（現一橋大学）に入学し、テニス部（軟式）でめきめき頭角を現わす。卒業後三井物産に就職してカルカタに駐在し、ここではじめて硬式テニスと出会う。その後の彼はウィンブルドンやデビスカップなどの世界的舞台で目覚ましい活躍をし、1921年の世界十傑では4位にまでランクを上げる。

この清水が実は平生鈇三郎と出合っていたのである。確かに二人は同じ東京高等商業の同窓だが、平生が卒業したのは1890年で、清水は1912年、22年の開きがある。また平生は東京海上火災の専務として三井物産とはきわめて親密な関係があったから二人はどこかで遭遇する機会はあったかも知れない。しかしやはり二人の経歴からは親しく会話を交える場があったとは想像しにくい。

ところが偶然は二人の邂逅の場をしのぐ。1924年10月31日、場所はアメリカ。清水はこの時物産の駐在員としてニューヨークにいた。平生は8カ月余りにわたる世界漫遊の途上で、如水会（東京高商同窓会）ニューヨーク支部の会合に招かれる。平生日

記によれば、この席上で平生はさまざまな角度から実例を挙げながら漢字廃止の意義について語り、それに続く討論で「テニスのチャンピオン清水善造氏」が次のように彼に賛意を表したと記されている。

自分の経験から、日本で軟式から硬式に移ろうとしたとき、「選手連は涙を垂れて軟球を主張し、若し強て硬球に移るの要あれば選手を止むるに如かず」と訴えたが、その後次第に硬式が主流になってくると、今更のように「硬球の妙味」を覚え、以前「軟球に執着せし時の事を思ふて怪訝に堪へざる位」であるが、漢字廃止もこれと同じことになるだろうと。平生はこれに対し、「真に面白き実例を与へ呉れたるを謝せり」と書いている。

甲南高等学校のテニスコートでウィンブルドン再現

1936年、二二六事件のこの年、平生は文部大臣となり、清水は三井物産を退社して三井生命神戸支店長となっていた。10月15日、プロに転向して来日したチルデンは神戸で清水の歓迎を受け、甲南高校のコートで15年ぶりにテニスを心ゆくまで楽しんだ。

平生はこの日は東京から自宅の住吉に帰っていたが、妻すゞの日記によれば、午前七時軍艦能野進水式に参列、八時半出帆で淡路島にて兵庫県教育大会に出席、次いで姫路高校視察となっ

『平生鈇三郎日記』
第一巻～第六巻を刊行中です。

『平生鈇三郎日記』第一巻～第六巻を刊行しました。5月には、第七巻を刊行予定です。定価は各巻20,000円（税抜）ですが、甲南学園関係者の方（卒業生、在学生、ご父母、教職員等）は、10,000円（税抜）でご購入いただけます。

ご注文・ご購入に関するお問い合わせ
甲南大学生協書籍部 Tel.078-441-7901 Fax.078-441-7915



1921年デビスカップ チャレンジラウンド
試合前のチルデン選手と清水善造。
〈資料提供〉
日本テニス協会テニスミュージアム委員会

清水善造と 平生鈇三郎

平生鈇三郎日記刊行記念シリーズ

経済学部教授
藤本 建夫

ウィンブルドン清水善造



Actualités du Lycée KONAN de Touraine-France

フランス甲南学園トゥレーヌだより

トゥレーヌ 最後の卒業式

2013年2月8日、本校最後となる卒業式が執り行われました。サンシール市長、アンドル・エ・ロワール県議会議長、在仏日本国大使館公使、吉沢フランス甲南学園トゥレーヌ理事長をはじめ、ホームステイでお世話になった地元フランス人の方々、遠くフランスまで駆けつけてくださった80名を超える同窓生や保護者など多くの人たちに見守られ、第21期生19名が巣立っていきました。

また、この卒業式をはさみ、生徒たちによるフランス語劇や和太鼓コンサート、甲南のエスプリを後世に伝えるモニュメントの除幕式、地元県・市をはじめとした関係機関代表者による閉校式、お世話になった方々への謝恩の意を込めたパーティーなどが行われ、これら一連の行事をもって総勢637名の卒業生を輩出した本校は、1991年度の開校以来、22年間の歴史に幕を閉じました。

これまで本校を支えてくださった皆様に心より御礼を申し上げます。



卒業式で校歌を斉唱する卒業生



卒業証書を授与される第21期生



生徒全員で本格的な
フランス語劇を熟演



地元フランス人から愛された
和太鼓最後のステージ

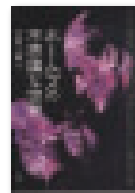


閉校パーティーで日本食を楽しむ地元の方々

ありがとう

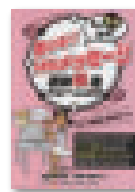
甲南大学の教員と
卒業生が執筆した

新刊 レビュー



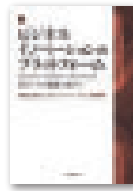
ホームズの不思議な世界

平賀 三郎(本名:田上綱彦
1961年経済学部卒)編著
福島 賢(1997年理学部卒/
1999年大学院自然科学研究科
物理学専攻修士課程修了)著
青弓社 ¥1,600(税別)



書ける! SNSメッセージ 通勤解速トレーニング

浅羽 真由美
(特定任期教員)著
マクラミンランゲージハウス
¥1,700(税別)



ビジネス・
イノベーションの
プラットフォーム
東アジアの連携に向けて
甲南大学ビジネス・
イノベーション研究所編
同文館出版株式会社
¥3,800(税別)



植物はすごい 生き残りをかけたしくみと工夫

田中 修
(理工学部教授)著
中央公論新社 ¥840(税別)



サービス産業の
アジア成長戦略
安積 敏政(経営学部特任教授)著
日刊工業新聞社
¥4,400(税別)

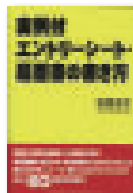
(共著)
中田 善啓(経営学部教授)
西村 順二(経営学部教授)
三上 和彦(経営学部教授)
杉田 俊明(経営学部教授)
マノジュシ・シュレスタ(経営学部教授)
食科 敏材(経営学部特任教授)
高 龍秀(経営学部教授)
古田 美保(経営学部教授)
馬場 大治(経営学部教授)
若林 公美(経営学部教授)
長坂 悦歌(経営学部教授)
尾形 真実哉(経営学部准教授)

「オール甲南の集い」

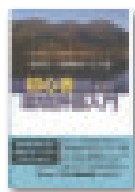
ここ数年5月に開催しておりました、ホームカミング・デー「オール甲南の集い」を、本年2013年は、11月に開催することとなりました。大学同窓会にさらにご協力賜り、ご卒業生、学生生徒およびご父母のみなさまとの絆をより強くさせていただきたいとの願いを込めて、ご準備いたします。確定した開催日時は、HPおよび次号の『甲南Today』でご案内させていただきます。ご期待ください。



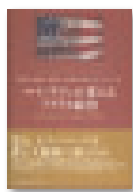
タネのふしぎ
タネは光の色を見分けるか?
「不老長寿の秘薬」と
呼ばれるタネは?
田中 修
(理工学部教授)著
ソフトバンク クリエイティブ
¥952(税別)



実例付
エントリーシート・
履歴書の書き方
松岡 洋平(2006年高等学校卒・
2010年経営学部卒)著
日本文学館 ¥700(税別)



初心者のための
環境評価入門
柘植 隆宏
(経済学部准教授)著
勁草書房 ¥3,000(税別)



マイノリティが変える
アメリカ政治
多民族社会の現状と将来
西山 隆行(法学部教授)著
NTT出版株式会社 ¥2,800(税別)

【少林寺拳法】
第46回少林寺拳法全日本学生大会(11月)
棕本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部第4位

【自動車】
全関西学生自動車連盟総合杯
団体優勝
岡翔太(経営2)・・・個人総合1位

【硬式庭球】
平成24年度
全日本大学対抗テニス王座決定試合(10月)
第4位

【空手道】
関西学生空手道選手権大会(10月)
2部3位1部昇格

【陸上競技】
第96回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月)
4×100mリレー第4位

【釣り】
全日本学生釣魚連盟関西支部主催
秋季ヘラブナ釣り大会(10月)
吉川将史(経済4)・・・第2位

【日本拳法】
第38回日本拳法龍峰杯優勝大会(10月)
西村咲紀(理工2)・・・女子段外の部優勝

【少林寺拳法】
第46回少林寺拳法全日本学生大会(11月)
棕本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部第4位

【自動車】
全関西学生自動車連盟総合杯
団体優勝
岡翔太(経営2)・・・個人総合1位

【硬式庭球】
平成24年度
全日本大学対抗テニス王座決定試合(10月)
第4位

【空手道】
関西学生空手道選手権大会(10月)
2部3位1部昇格

【陸上競技】
第96回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月)
4×100mリレー第4位

【釣り】
全日本学生釣魚連盟関西支部主催
秋季ヘラブナ釣り大会(10月)
吉川将史(経済4)・・・第2位

【日本拳法】
第38回日本拳法龍峰杯優勝大会(10月)
西村咲紀(理工2)・・・女子段外の部優勝

【少林寺拳法】
第46回少林寺拳法全日本学生大会(11月)
棕本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部第4位

【自動車】
全関西学生自動車連盟総合杯
団体優勝
岡翔太(経営2)・・・個人総合1位

【硬式庭球】
平成24年度
全日本大学対抗テニス王座決定試合(10月)
第4位

【空手道】
関西学生空手道選手権大会(10月)
2部3位1部昇格

【陸上競技】
第96回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月)
4×100mリレー第4位

【釣り】
全日本学生釣魚連盟関西支部主催
秋季ヘラブナ釣り大会(10月)
吉川将史(経済4)・・・第2位

【日本拳法】
第38回日本拳法龍峰杯優勝大会(10月)
西村咲紀(理工2)・・・女子段外の部優勝

【少林寺拳法】
第46回少林寺拳法全日本学生大会(11月)
棕本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部第4位

【自動車】
全関西学生自動車連盟総合杯
団体優勝
岡翔太(経営2)・・・個人総合1位

【硬式庭球】
平成24年度
全日本大学対抗テニス王座決定試合(10月)
第4位

【空手道】
関西学生空手道選手権大会(10月)
2部3位1部昇格

【陸上競技】
第96回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月)
4×100mリレー第4位

【釣り】
全日本学生釣魚連盟関西支部主催
秋季ヘラブナ釣り大会(10月)
吉川将史(経済4)・・・第2位

【日本拳法】
第38回日本拳法龍峰杯優勝大会(10月)
西村咲紀(理工2)・・・女子段外の部優勝

【少林寺拳法】
第46回少林寺拳法全日本学生大会(11月)
棕本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部第4位

【自動車】
全関西学生自動車連盟総合杯
団体優勝
岡翔太(経営2)・・・個人総合1位

【硬式庭球】
平成24年度
全日本大学対抗テニス王座決定試合(10月)
第4位

【空手道】
関西学生空手道選手権大会(10月)
2部3位1部昇格

【陸上競技】
第96回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月)
4×100mリレー第4位

【釣り】
全日本学生釣魚連盟関西支部主催
秋季ヘラブナ釣り大会(10月)
吉川将史(経済4)・・・第2位

甲南Today 2013 Mar NO. 43

発行日/2013年3月25日
発行/甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL (078) 431-4341 (代)

PRESENT

甲南オリジナル ボールペン

スマートなケースに入ったスケルトンボールペン。
ご希望の方は同封のアンケートはがきにてご応募ください。

応募締切:2013年5月20日到着分まで



子規断章 漱石と虚子

日下 徳一
(元甲南高中教諭)著
朝日新聞出版 ¥2,000(税別)

日下徳一 高中元教諭が新著『子規断章一漱石と虚子』(朝日新聞出版 2,100円)を執筆、出版されました。日下先生は、在職中から英語を教えるかわら俳句を研究され、定年後に『子規山脈〜師弟交友録』『子規もうひとつの顔』(いずれも朝日新聞出版刊)を出版、子規関連としては、今回が3冊目となります。高校生や大学生が、子規や漱石、虚子らの文学に親しみきっかけとなる好著です。

また先生は、甲南が生んだ音楽家、貴志康一の研究家でもあり『貴志康一〜よみがえる天折の天才』(音楽之友社)もお書きになっていて、現在も月2、3度、高中の貴志康一記念室へお越しになります。



定年退職しずいぶん経ちましたが、元気でやっており、甲南俳句会の活動と貴志康一研究は、相変わらず続いています。退職後4冊目の新著を昨秋出版しましたので、ぜひお読みください。

日下 徳一

甲南高等学校同窓会総会

～もう一度振り返ろう 高校時代～ 伝統文化@甲南

日時 2013年5月25日(土) 14:00～
場所 平生記念セミナーハウス
会費 2,000円

講演会

小笠原流煎茶道 若宗匠 花田基邦(小笠原秀邦)氏 37回
神戸酒心館 代表取締役 安福武之助氏 42回
小原流 五世家元 小原宏貴氏 56回

懇親会

OBによる演奏会「裏セレブ」

新任教職員紹介

平成24年度 9月1日
よろしくお願ひいたします!



江川 宏美
嘱託職員

[資格・特技]水泳
2012年10月1日付



羽田 和幸
専任職員

[資格・特技]陸上ホッケー
2012年11月1日付



坂 綾加
嘱託職員

[資格・特技]看護師・保健師・養護教諭
2013年3月1日付



眞下 激
専任職員

[資格・特技]卓球・ドライブ
2013年1月1日付



佐藤 公美
准教授

[専門分野]西洋史・イタリア中世史
2012年9月1日付



甲斐 佳奈
嘱託職員

[資格・特技]パン作り
2012年10月1日付



田淵 万貴
嘱託職員

[資格・特技]アルゼンチンタンゴダンス
2012年9月1日付



木本 篤志
講師

[専門分野]機能材料化学
2012年9月1日付